

令和4年度

一般選抜学生募集要項



国立大学法人 秋田大学
Akita University

新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、入学者選抜方法等の記載内容に変更が生じる場合があります。変更する場合は、本学ホームページ「入試情報」に掲載しますので、最新の情報を確認してください。

目 次

一般選抜の実施方式等について	1
令和4年度秋田大学一般選抜日程	2
インターネット出願の流れ	3
秋田大学の理念と基本的な目標	6
秋田大学および各学部のアドミッション・ポリシー	
秋 田 大 学	6
国際資源学部	7
教育文化学部	10
医 学 部	17
理 工 学 部	20
I 募集人員	24
II 一般選抜	
1 出願資格	25
2 入学者選抜方法等	25
3 個別学力検査等の日程および試験場	37
4 出願手続	40
5 配慮を必要とする入学志願者の事前相談	44
6 合格者の発表	45
7 入学手続	45
8 追加合格	46
9 追試験	47
10 入試情報の提供および開示	47
III その他	
1 国際資源学部入学志願者へ	49
2 教育文化学部入学志願者へ	49
3 理工学部入学志願者へ	49
4 検定料免除について	49
5 入学料免除・授業料免除および入学料徴収猶予について	50
6 秋田大学「新入生育英奨学資金」について	51
7 学生寮について	52
8 令和4年度秋田大学「個別の入学資格審査」について	53
9 試験場の案内	55

ダウンロードが必要な書類等

教育文化学部実技検査調書【前期日程】

教育文化学部実技検査調書【後期日程】

スポーツ活動の調書（教育文化学部実技検査関係資料）

同意書（医学部医学科地域枠（後期日程））

中学校卒業後の活動内容について

一般選抜の実施方式等について

- 1 一般選抜の実施方式
本学の一般選抜は、「前期日程」と「後期日程」の二つに分けた、分離分割方式で実施します。
- 2 一般選抜への出願
志願者は、国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の「前期日程」から一つ、「後期日程」から一つの合計二つの大学・学部に出願することができます。（公立大学中期日程にも出願することができます。）
従って、本学の「前期日程」に出願する者は、他の国公立大学・学部の「前期日程」に出願することはできません。
また、本学の「後期日程」に出願する者は、他の国公立大学・学部の「後期日程」に出願することはできません。
※公立大学協会ホームページ (<http://www.kodaikyo.org/>) 参照
- 3 学内併願
本学の「前期日程」と「後期日程」の両方に出願することは、同じ学部・学科・課程・専攻・コースの場合、異なる学部・学科・課程・専攻・コースの場合とも可能です。
なお、学内併願の場合であっても、出願書類は、日程別にそれぞれ提出する必要があります。
- 4 学校推薦型選抜に合格した場合の取扱い
本学または他の国公立大学・学部の学校推薦型選抜に合格した者は、当該学校推薦型選抜を実施した大学・学部から入学辞退を許可された場合を除き、本学の一般選抜を受験しても、合格者とはなりません。
- 5 総合型選抜に合格した場合の取扱い
本学または他の国公立大学・学部の総合型選抜に合格した者は、当該総合型選抜を実施した大学・学部の定める手続きにより入学を辞退した場合を除き、本学の一般選抜を受験しても、合格者とはなりません。
- 6 大学入学共通テストの受験科目について
本学では大学入学共通テストの前年度以前の成績は利用しません。必ず令和4年度大学入学共通テストを受験してください。
志望する学科、課程、専攻、コースの課す大学入学共通テストの教科・科目をすべて受験していない場合は、出願しないでください。

一般選抜における入試過去問題の使用について

本学のアドミッション・ポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。
入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。
また、使用した過去問題については、入試終了後、受験者に分かるような形で公表します。

一般選抜以外への出願について

総合型選抜、学校推薦型選抜、私費外国人留学生入試、渡日前入学許可制度による私費外国人留学生入試および国際バカロレア入試の学生募集要項は、この要項とは別冊子になっています。

入学志願者の個人情報保護について

本学では、提出された出願書類から志願者の個人情報を取得し、また、入学試験の実施により受験者の個人情報を取得しますが、これらの個人情報は、下記の目的で利用します。

【利用目的】

- 入学者選抜に関する業務（統計処理などの付随する業務を含む。）に利用します。
- 入学手続完了者にあつては、入学後の学籍管理、学習指導、学生支援関係業務および授業料徴収業務に利用します。

令和4年度秋田大学一般選抜日程

大学入学共通テスト

令和4年1月15日(土)・16日(日)

(追試験 令和4年1月29日(土)・30日(日))

一般選抜出願期間(前期日程・後期日程) 令和4年1月24日(月)～2月4日(金)

インターネット出願サイトで手続きを行い、印刷した書類および調査書等を、原則として郵送により送付してください。
(2月4日必着)
インターネット出願サイトは、1月19日(水)10時から登録が可能となります。

2段階選抜における第1段階選抜の結果発表
(医学部医学科のみ対象)

2月10日(木)

前期日程	試験日	2月25日(金)・26日(土)	25日全学部で実施。教育文化学部教育実践コースの実技検査受験者と医学部医学科受験者のみ2日間
	合格者発表	3月7日(月)	
	入学手続	3月14日(月)・15日(火)	
後期日程	試験日	3月12日(土)	
	合格者発表	3月21日(月)	
	入学手続	3月25日(金)・26日(土)	
追加合格者の決定 ・入学手続		3月28日(月)から	

新型コロナウイルス感染症に罹患または罹患しているおそれのある者を対象とした追試験

出願受付	2月25日(金)まで(前期日程)
	3月12日(土)まで(後期日程)
試験日	3月22日(火)
合格者発表	3月26日(土)
入学手続	3月30日(水)まで

(47ページ参照)

インターネット出願の流れ

秋田大学の一般選抜の出願は、インターネット出願方式で行います。

出願完了までの流れは、以下のとおりです。

出願登録・検定料・必要書類等の詳細は必ず学生募集要項で確認して、不備のないように出願してください。



STEP 1 事前準備

インターネットに接続されたパソコン、カラープリンターなどを用意してください。(スマートフォン、タブレットは非推奨)
 必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…調査書、写真データ、大学入学共通テスト成績請求票など

STEP 2 インターネット出願サイトにアクセス

インターネット出願サイト ▶ <https://e-apply.jp/e/akita-u/>
 または、
 大学ホームページ ▶ <https://www.akita-u.ac.jp/> からアクセス

STEP 3 出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。

「出願内容の確認/志願票・受験票の印刷」ボタンより、受付番号(*)、生年月日、メールアドレスを入力・ログインすると、自分が登録した内容確認、出願に必要な書類の出力ができます。

- ①試験方式、志望学部・学科等
- ②写真のアップロード
- ③テスト送信メールの確認
テストメール送信を行い、登録アドレスにテストメール受信の確認後、メールアドレス下の【メール確認済】のチェック☑を入れてください。
- ④個人情報(氏名・住所等)の入力
- ⑤登録内容の確認
申込登録完了後は内容の修正ができませんので誤入力がないよう確認してください。
- ⑥申込登録完了
受付番号(12桁)は必ず控えてください。出願情報を確認する場合と、出願書類を出力する際に必要になります。
- ⑦検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●インターネットバンキング
●クレジットカード
- ⑧出願に必要な書類PDF(イメージ)

検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を控え、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されている必要があります

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能

セブン-イレブン

Loppi

LAWSON



Famiポート

あなただと、コンビニ、
FamilyMart



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

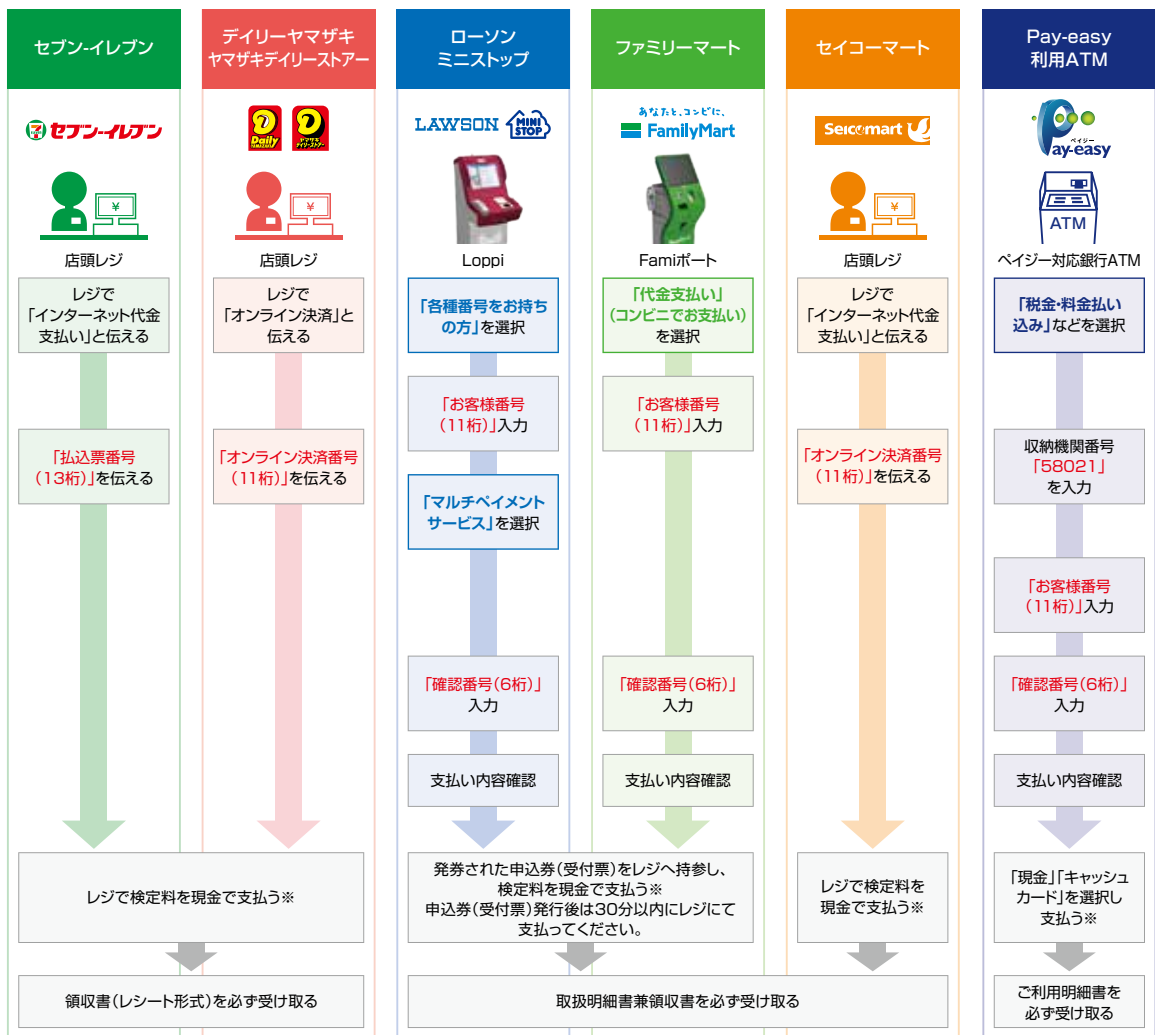
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP

5

出願書類の印刷と郵送

登録だけでは出願は完了していませんので注意してください。

出願登録、検定料の支払後にダウンロードできる書類を印刷し、その他の必要書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「速達簡易書留郵便」で郵送してください。※令和4年2月4日(金)17時必着

出願書類

出願に必要な書類は、一般選抜学生募集要項のp41～43を参照してください。

<出願締切>

令和4年2月4日(金) 17時必着

※P40の(1)出願期間・(2)出願方法を必ず確認してください。



宛名シート
市販の角形2号封筒
(24cm×33.2cm)封筒に
貼り付けて作成

「入学志願票」の印刷方法



「出願内容の確認/志願票・受験票の印刷」ボタンより、受付番号、生年月日、メールアドレスを入力・ログインすると、自分が登録した内容確認、入学志願票の出力ができます。

出願書類の郵送先は宛名シートに自動で印字されます

■出願書類

前期日程の出願登録と後期日程の出願登録それぞれにつき1部ずつが必要です。出願に必要な書類は募集要項を参照してください。

※出願受理した検定料・必要書類は一切返却しません。

<出願完了>

出願時の
注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。登録が完了しても必要書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。

インターネット出願は24時間可能です。ただし、出願登録、検定料の支払いは出願締切日13時まで(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)、必要書類の郵送は出願締切日17時必着です。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

6

受験票の印刷

本学で出願を確認後、各日程毎に出願期間受付終了後から試験前日までに一斉に受験票を配信します。インターネット出願システムよりダウンロードできる状態にしますので、必ずカラー印刷し、試験当日持参してください(※郵送はいたしません)。※ただし、医学部医学科で2段階選抜を実施した場合の第1段階選抜不合格者には受験票が配信されません。

※受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。

【印刷に関する注意事項】 受験票は必ずA4用紙に片面カラー印刷にしてください。



秋田大学の理念と基本的な目標

基本理念

- 国際的な水準の教育・研究を遂行します。
- 地域の振興と地球規模の課題の解決に寄与します。
- 国の内外で活躍する有為な人材を育成します。

基本的な目標

1. 教育においては、質の国際通用性を高め、地域と世界の諸課題の解決に取り組む人材を育成する。
2. 研究においては、地域の特性を活かした研究とグローバルな課題に対応する研究に取り組むことにより、イノベーションの創出を推進し、その成果を継続的に地域と世界に発信する。
3. 社会連携においては、教育研究成果を地域社会に還元し、地域と協働した地域振興策の取組を推進するとともに、地域医療の中核的役割を担う。
4. 国際化においては、資源産出国を中心とした諸外国の留学生・研究者との学術交流を推進するとともに、学生や教職員の海外留学・派遣を促進する。
5. 大学経営においては、学長主導の下、学生及び教職員一人ひとりの活力を相乗的に高めた組織文化を浸透させ、透明性を確保した健全で効率的な大学経営を目指す。

『全学の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）』

秋田大学では、21世紀の日本ならびに国際社会において、指導的な役割を担うことができる人材の育成を目指しています。このため秋田大学は、学生が幅広い教養と深い専門性、そして高い倫理性に裏付けられた豊かな人間力を涵養できることを全学の教育目標としています。

このような目標のもと、次のような資質や意欲をもった人を、入学者として求めています。

1. 学問への探求心を持ち、その発展に主体性と創造性を持って尽くしたい人
2. 学士課程教育を受けるにふさわしい基礎的な知識・技能と、それらを活用して課題解決するために必要な思考力・判断力・表現力を持った人
3. 地域社会や国際社会の諸課題を理解し、その解決に寄与したい人

『各学部・学科・課程等の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）』

学部、学科、課程等の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）は、下記の項目によって成り立っており、入学を希望する人に求める能力や資質を具体的に示しています。

●育てる人間像と求める人物像

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

●入学者選抜の基本方針（どのような力を評価するか）

●入学者選抜方法における重点評価項目

※学力の3要素

- ・知識・技能
- ・思考力・判断力・表現力
- ・主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）

【国際資源学部】

【国際資源学科】

◆育てる人間像

国際資源学部では、地球規模となった資源問題の解決を目指し、豊かな人間性と国際的視野を併せ持ち、新たな資源探査・開発技術や環境保全技術と資源・エネルギー戦略の発展・革新を担う人材を育成します。

●求める人物像

1. 資源・エネルギー・環境問題への強い関心を持ち、その解決策をねばり強く、柔軟に思考・探求できる人
2. 自然科学と人文社会科学の両面から資源問題を総合的に捉え、実務家、技術者、研究者として社会の発展に貢献したいという意欲を持ち、新たな課題へ立ち向かうチャレンジ精神のある人
3. 国際的に通用する論理的思考力と判断力および外国語による表現力とコミュニケーション能力を身につけ、グローバルなフィールドで活躍しようとする人

《資源政策コース》

●求める人物像

1. 資源・エネルギー・環境等の地球全体の課題に関心を持ち、持続可能な社会形成に貢献したいと思っている人
2. 国際社会の様々な分野で活躍したいと考えている人
3. 多様な価値観を持つ人々との交流に強い関心を持っている人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

- 国語—多様な価値観の理解に求められるコミュニケーション能力、表現力、読解力
- 英語—国際社会で活躍するために基礎となるコミュニケーション能力、表現力、読解力
- 数学・理科—自然科学に対する基礎学力と論理的思考能力
- 地理歴史—世界の文化・歴史・産業に対する関心の高さと理解力

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち、国際社会の動向に高い関心を有し、かつ日本語および外国語（英語）の文章からの確に情報を読み取る読解力と論理的表現力に優れた人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。個別学力検査等で国語および外国語（英語）を課して「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。調査書で「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。

《一般選抜（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち、国際社会の動向に高い関心を有し、背景となる地理および歴史の基礎知識を持ち、かつ自らの考えを論理的かつ説得力をもって展開できる人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。個別学力検査等で小論文を課して「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。また、個別学力検査等で面接を課して「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。調査書は、面接で主に「主体性・多様性・協働性」を評価する際の参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 (主体性・多様性・協働性)
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査（教科）	○	○	
	調査書			○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○	
	小論文	○	○	
	面接	○	○	○
	調査書			○

《資源地球科学コース》

●求める人物像

1. 自然現象への好奇心が強く、地球の成り立ちを解明することや新たな資源を探求することに挑戦する意欲のある人
2. 物事を深く洞察し、野外調査や実験にねばり強く取り組める人
3. 将来、地下資源探査・開発に関わる技術者として、または資源地球科学分野の研究者として国際的に活躍したい人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

国	語—文章を読む読解力、論理的な思考力、自分の考えを表現できる表現力
英	語—英語の読解力と基礎的なコミュニケーション能力
数	学—数学の基本的な概念の理解と計算力
地 理	歴 史—国内外で活躍するために必要な基本的な知識、教養
理	科—物理、化学、生物、または地学分野の内容の理解と科学的探究心

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち、地球の成り立ち、地質や岩石などの地球科学に対する知的な好奇心と学習意欲を有し、科学的根拠に基づいた論理的思考力および多面的なものの考え方を備えた人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。個別学力検査等で数学、理科、外国語(英語)を課して「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。調査書で「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。

《一般選抜（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち、地球の成り立ち、地質や岩石などの地球科学に対する知的な好奇心と学習意欲を有し、かつ自らの考えを論理的かつ説得力をもって展開できる人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。個別学力検査等で小論文を課して「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。また、個別学力検査等で面接を課して「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。調査書は、面接で主に「主体性・多様性・協働性」を評価する際の参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 (主体性・多様性・協働性)
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査（教科）	○	○	
	調査書			○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○	
	小論文	○	○	
	面接	○	○	○
	調査書			○

《資源開発環境コース》

●求める人物像

1. 資源の探査，資源・エネルギーの生産手法，リサイクルなどに強い興味を持つ人
2. 多様な観点で物事を観察し，新たな価値の創造へ果敢に挑戦する意欲を持つ人
3. 自然環境と調和した技術やシステムの開発を実現し，環境に配慮した資源開発と資源循環型社会の創出に貢献したい人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

- 国語・英語—国際社会で活躍するための基礎となるコミュニケーション能力，読解力，思考力，表現力
 数 学—「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」，「数学Ⅲ」，「数学A」，「数学B」における内容の理解と数学的応用力，論理的な思考力
 地歴・公民—地理歴史，公民における基礎知識と世界的な視点に基づく地理，歴史，文化・制度，政治・経済などを通じた考察力
 理 科—物理，化学，生物または地学分野における内容の理解と自然科学を理解するための知識の活用と思考力

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち，資源開発，地球環境問題，エネルギーやリサイクルに対する興味と学習意欲を有し，科学的根拠に基づいた論理的思考力および多面的なものの考え方を備えた人を求めます。

そのため，大学入学共通テストで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。個別学力検査等で数学，理科，外国語(英語)を課して「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。調査書で「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。

《一般選抜（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち，資源開発，地球環境問題，エネルギーやリサイクルに対する興味と学習意欲，知的好奇心を有し，かつ自らの考えを論理的かつ的確に表現できる人を求めます。

そのため，大学入学共通テストで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。個別学力検査等で小論文を課して「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。また，個別学力検査等で面接を課して「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。調査書は，面接で主に「主体性・多様性・協働性」を評価する際の参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 (主体性・多様性・協働性)
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査（教科）	○	○	
	調 査 書			○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○	
	小 論 文	○	○	
	面 接	○	○	○
	調 査 書			○

【教育文化学部】

◆育てる人間像

教育文化学部では人間存在をめぐる現代的課題を総合的に探究し、教員および新たな生活文化の創造を担う人材を育成します。

[学校教育課程]

●求める人物像

多様な教育的諸課題に対処できるように、豊かな人間性と専門的知識・技術、幅広い教養を基盤とする実践的な指導力を備えた教員を目指す強い意志のある人を求めています。

≪教育実践コース≫

●求める人物像

1. 学校の教員として働こうとする強い意志のある人
2. 子どもに対する理解と教育に強い情熱を持つ人
3. 学校教育のさまざまな課題に積極的に取り組もうとする意欲のある人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

- 国語 語—国語を適切に表現し的確に理解する能力、伝え合う力、思考力・想像力と、言語文化に対する関心および国語を尊重する態度
- 英語 語—言語や文化に対する理解と、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする英語コミュニケーション能力
- 数学 学—数学の基本的な概念や原理・法則についての体系的な理解と、それらを活用し、数学的論拠に基づいて判断する態度
- 地歴・公民—日本および世界の歴史と生活・文化の地域的特色についての理解と、国際社会で主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する公民的資質
- 理科—自然の事物・現象に対する関心や探究心と、そのために必要な科学的に探究する能力と態度、および、自然の事物・現象についての理解と科学的な自然観
- 保健体育・芸術—実技実践能力を養うために求められる知識、技術力や表現力

●入学選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち、学校教育を広い視野から論理的・実践的に学ぶための能力を備えた人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで各教科内容に関連した「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価し、個別学力検査等で国語、数学、英語の3教科と実技検査（音楽、美術、体育）をあわせた4教科等から2教科等を課して、主として学校教育を考え実践するための「知識・技能」および「思考力・判断力・表現力」を評価します。

また、調査書等で、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

《一般選抜（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち、教員として学校教育の課題に積極的に取り組むうえでの、論理的思考能力や技能を備えた人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで各教科内容に関連した「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価し、個別学力検査等で小論文または実技検査（音楽、美術、体育）を課して、主として「読解力、論理的思考能力、発想力、文章表現力、および技能・表現力」を評価します。

また、面接で、調査書等を活用して「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 (主体性・多様性・協働性)	
			思考力・判断力	表現力	主体性	多様な人々との協働性
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○	○		
	個別学力検査（教科）	○	○	○		
	個別学力検査（実技）	○		○	○	
	実技検査関係資料				○	○
	調査書				○	○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○	○		
	小論文	○	○	○	○	
	個別学力検査（実技）	○		○	○	
	実技検査関係資料				○	○
	面接				○	○
	調査書				○	○

《英語教育コース》

●求める人物像

1. 教員となることを強く希望し、理論的知識を身につけ実践的能力を養うことに積極的に取り組もうとする人
2. 英語教育について高い関心があり、英語教育のさまざまな教育課題に積極的に取り組もうとする人
3. 英語力を向上させることについて意欲と情熱を持ち、学習する機会を積極的に捉え、英語力を伸ばすための努力を惜しまない人
4. グローバル社会における異文化間コミュニケーションの重要性を意識し、自ら進んで外国の人々とのコミュニケーションを図ろうとする人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

- 国語 語—国語を適切に表現し的確に理解する能力、伝え合う力、思考力・想像力と、言語文化に対する関心および国語を尊重する態度
- 英語 語—言語や文化に対する理解と、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする英語コミュニケーション能力
- 数学 学—数学の基本的な概念や原理・法則についての体系的な理解と、それらを活用し、数学的論拠に基づいて判断する態度
- 地歴・公民—日本および世界の歴史と生活・文化の地域的特色についての理解と、国際社会で主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する公民的資質
- 理科—自然の事物・現象に対する関心や探究心と、そのために必要な科学的に探究する能力と態度、および、自然の事物・現象についての理解と科学的な自然観

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

十分な基礎学力と英語運用能力を身につけており、英語教育を広い視野から理論的・実践的に学ぶ意欲を持ち、グローバル社会に通用する英語教育を追究する人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで各教科内容に関連した「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価し、個別学力検査等として国語、英語（リスニング、スピーキングを含む）の2教科および面接を課して、主として「日本語による論理的な思考力、英語による論理的理解力・表現力、英語教育に対する関心・意欲、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、調査書は、面接において活用します。

《一般選抜（後期日程）》

十分な基礎学力と英語運用能力を身につけており、英語における論理的な思考力および豊かな発想に基づく表現力を強みとして、グローバル社会に通用する英語教育を追究する人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで各教科内容に関連した「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価し、個別学力検査等で英語（スピーキング）、小論文（英文）および面接を課して、主として「大学での学習に必要とされる言語に関する読解力・表現力・論理的思考力、および英語教育に対する関心・意欲、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、調査書は、面接において活用します。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 (主体性・多様性・協働性)	
			思考力・判断力	表現力	主体性	多様な人々との協働性
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○	○		
	個別学力検査（教科）	○	○	○		
	面接				○	○
	調査書				○	○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○	○		
	個別学力検査（教科）	○	○	○		
	小論文	○	○	○		
	面接				○	○
	調査書				○	○

《理数教育コース》

●求める人物像

1. 教員となることを強く希望する人
2. 理科教育・数学教育の現代的な諸課題の解決に向けて積極的に取り組もうとする意欲のある人
3. 自然科学に興味や関心を持ち、実験や観察を通じた理科教育に熱意のある人
4. 数学への理解を深め、数学の学習を通して、自然や社会に対して自ら進んで論理的に考える態度を育てたい人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

- 国語－国語を適切に表現し的確に理解する能力、伝え合う力、思考力・想像力と、言語文化に対する関心および国語を尊重する態度
- 英語－言語や文化に対する理解と、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする英語コミュニケーション能力
- 数学－数学（数学Ⅲを含む）の基本的な概念や原理・法則についての体系的な理解と、それらを活用し、数学的論拠に基づいて判断する態度
- 地歴・公民－日本および世界の歴史と生活・文化の地域的特色についての理解と、国際社会で主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する公民的資質
- 理科－自然の事物・現象に対する関心や探究心と、そのために必要な科学的に探究する能力と態度、および、自然の事物・現象についての理解と科学的な自然観

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

大学入学共通テストで各教科内容に関連した「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価し，個別学力検査等で数学，英語および理科から2教科を課して，主として「数学・自然科学に関する知識・技能，論理的思考力・判断力・表現力」を評価します。

また，調査書で「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

《一般選抜（後期日程）》

大学入学共通テストで各教科内容に関連した「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価し，個別学力検査等で面接（板書等による記述を課す試問を含む）を課して，主として「表現力，意欲，関心，態度，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお，調査書は，面接において活用します。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 (主体性・多様性・協働性)	
			思考力・判断力	表現力	主体性	多様な人々との協働性
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○	○		
	個別学力検査（教科）	○	○	○		
	調査書				○	○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○	○		
	面接（※試問を含む）	○	○	○	○	○
	調査書				○	○

※板書等による記述を課す試問

《特別支援教育コース》

●求める人物像

1. 特別支援学校や小学校・中学校等で働くことを強く希望する人
2. 障害のある子どもに対する理解と教育に強い情熱を持つ人
3. 特別支援教育のさまざまな教育課題に積極的に取り組む意欲のある人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

- 国語－国語を適切に表現し的確に理解する能力、伝え合う力、思考力・想像力と、言語文化に対する関心および国語を尊重する態度
- 英語－言語や文化に対する理解と、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする英語コミュニケーション能力
- 数学－数学の基本的な概念や原理・法則についての体系的な理解と、それらを活用し、数学的論拠に基づいて判断する態度
- 地歴・公民－日本および世界の歴史と生活・文化の地域的特色についての理解と、国際社会で主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する公民的資質
- 理科－自然の事物・現象に対する関心や探究心と、そのために必要な科学的に探究する能力と態度、および、自然の事物・現象についての理解と科学的な自然観

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

十分な基礎学力と読解、表現、論理的思考に十分な能力および特別支援学校や小学校・中学校等での仕事に高い関心と意欲を持つ人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで各教科内容に関連した「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価し、個別学力検査等で国語、数学、英語の3教科から2教科を課して、主として「大学での学習に必要とされる基礎的知識・技能と、言語・数理に関する読解力・表現力・論理的思考力」を評価します。

また、調査書で「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

《一般選抜（後期日程）》

十分な基礎学力、他の人と力を合わせて課題解決にあたる能力および特別支援学校や小学校・中学校等での仕事に高い関心と意欲を持つ人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで各教科内容に関連した「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価し、個別学力検査等で小論文および面接を課して、主として「主体性を持って多様な人々と協働して物事に取り組み学ぶ態度および特別支援教育を学ぶ意欲」を評価します。

なお、調査書は、面接において活用します。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 (主体性・多様性・協働性)	
			思考力・判断力	表現力	主体性	多様な人々との協働性
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○	○		
	個別学力検査（教科）	○	○	○		
	調査書				○	○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○	○		
	小論文	○	○	○		
	面接				○	○
	調査書				○	○

《こども発達コース》

●求める人物像

1. 幼稚園・保育関連施設・小学校の仕事に携わりたいことを強く希望する人
2. 子どもに対する理解と教育・保育に強い情熱を持つ人
3. 乳幼児期から児童期の子どもに関わるさまざまな教育・保育課題や、子どもへの発達支援に積極的に取り組もうとする意欲のある人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

- 国語－国語を適切に表現し的確に理解する能力、伝え合う力、思考力・想像力と、言語文化に対する関心および国語を尊重する態度
- 英語－言語や文化に対する理解と、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする英語コミュニケーション能力
- 数学－数学の基本的な概念や原理・法則についての体系的な理解と、それらを活用し、数学的論拠に基づいて判断する態度
- 地歴・公民－日本および世界の歴史と生活・文化の地域的特色についての理解と、国際社会で主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する公民的資質
- 理科－自然の事物・現象に対する関心や探究心と、そのために必要な科学的に探究する能力と態度、および、自然の事物・現象についての理解と科学的な自然観

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち、読解、表現、論理的思考に十分な能力を有するとともに、こども発達コースでの学習および子どもに関連した教育・保育施設等でのより専門的な仕事に高い関心と意欲を持つ人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで各教科内容に関連した「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価し、個別学力検査等で国語、数学、英語の3教科から2教科を課して、主として「大学での学習に必要とされる基礎的知識・技能と、言語・数理に関する読解力・表現力・論理的思考力」を評価します。

また、調査書で「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

《一般選抜（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち、資料の分析と読解および自分の考えの表現に十分な能力を有するとともに、こども発達コースでの学習および子どもに関連した教育・保育施設等でのより専門的な仕事に高い関心と意欲を持つ人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで各教科内容に関連した「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価し、個別学力検査等で記述問題および面接（集団討論を含む）を課して、主として「資料の分析と読解および自分の考えを表現する能力と、こども発達コースでの学習および子どもに関連した教育・保育施設等でのより専門的な仕事に対する関心と意欲、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、調査書は、面接において活用します。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 (主体性・多様性・協働性)	
			思考力・判断力	表現力	主体性	多様な人々との協働性
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○	○		
	個別学力検査（教科）	○	○	○		
	調査書				○	○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○	○		
	記述問題	○	○	○		
	面接(集団討論を含む)	○	○	○	○	○
	調査書				○	○

[地域文化学科]

●求める人物像

1. 地域社会の将来を展望し、行政・経済・生活・文化などの各方面において地域の活性化に貢献したいという強い情熱のある人
2. 地域の抱えるさまざまな問題に対して、人文・社会科学や生活科学、自然科学、情報科学、心理学の総合的な成果を踏まえて分析し、これに実践的に応えていこうという意欲のある人
3. 地域の特性・伝統を理解しながら、日本および世界の歴史・文化に対しても幅広い関心を有し、学業で得た知識・経験を積極的に活用し、地域文化の継承・発展に取り組もうという意欲のある人
4. 地域情報を世界に向けて発信し、世界の各地域との交流を促進しようという意欲のある人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

- 国語－国語を適切に表現し的確に理解する能力、伝え合う力、思考力・想像力と、言語文化に対する関心および国語を尊重する態度
- 英語－言語や文化に対する理解と、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする英語コミュニケーション能力
- 数学－数学の基本的な概念や原理・法則についての体系的な理解と、それらを活用し、数学的論拠に基づいて判断する態度
- 地歴・公民－日本および世界の歴史と生活・文化の地域的特色についての理解と、国際社会で主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する公民的資質
- 理科－自然の事物・現象に対する関心や探究心と、そのために必要な科学的に探究する能力と態度、および、自然の事物・現象についての理解と科学的な自然観

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

高等学校等で学ぶ全科目のバランスのとれた基礎知識を有し、さらに読解力や語学力、論理的思考についてより高い能力を持つ人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで各教科内容に関連した「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価し、個別学力検査等で国語、数学、英語の3教科から2教科を課して、主として「大学での学習に必要とされる基礎的知識・技能と、言語・数理に関する読解力・表現力・論理的思考力・判断力」を評価します。

また、調査書で「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

《一般選抜（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち、日本語による表現力と自己の見解を論理的かつ説得力を持って展開する能力を有する人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで各教科内容に関連した「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価し、個別学力検査等で小論文および面接を課して、主として「幅広い知識・技能に基づく論理的思考力・判断力と読解力や表現力を含む言語運用能力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、調査書は、面接において活用します。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 (主体性・多様性・協働性)	
			思考力・判断力	表現力	主体性	多様な人々との協働性
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○	○		
	個別学力検査（教科）	○	○	○		
	調査書				○	○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○	○		
	小論文	○	○	○		
	面接				○	○
	調査書				○	○

【医学部】

◆育てる人間像

医学部では、豊かな教養に支えられた人間性と高い倫理観および学問の進歩に対応しうる柔軟な適応能力と課題探求・問題解決能力を養い、医学・健康科学に対する十分な理解のもとに、人々の健康と医療・福祉に貢献できる国際的視野を備えた使命感にあふれる人材を育成します。

●求める人物像

1. 病気に悩む人々の痛みや苦しみを理解し真摯な態度で接することができる人
2. 医療・保健・福祉の発展を目指して一生涯にわたり医学の研鑽にたゆみない努力を継続できる人
3. 素直で協調性に富み、周囲の人々と円滑な人間関係を築けるコミュニケーション能力を持つ人

[医学科]

●求める人物像

1. 地域医療への理解と共感を有し、将来の医師としての強い倫理観を持ち、住民の健康・福祉に寄与できる人
2. 基礎および臨床医学や社会医学の研究に深い関心を持ち、国際性を備えた研究者としての資質を有する人
3. 大学入学後の学業に支障ないだけの隔たりのない基礎学力を持ち、生命科学に対する関心を持つ将来性豊かな人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

- | | | |
|-------|--|--|
| 国 | 語 | —文化・社会の理解に求められる読解と表現に関わる幅広い基礎知識およびコミュニケーション能力 |
| 英 | 語 | —国際社会に求められる読解と表現に関わる幅広い基礎知識およびコミュニケーション能力 |
| 数 | 学 | —「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」における内容の理解とそれらを活かせる数学的思考力 |
| 地歴・公民 | —将来、地域や国際社会で良識をもった人間として活躍するために必要な知識や教養 | |
| 理 | 科 | —「生物」、「化学」および「物理」の幅広い知識と科学的な探究心 |
| そ | の | 他—ストレスに負けない体力と精神力、周囲の人々との協調性 |

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

論理的思考能力と国際性に優れ、医師としての適性を備えた学生を選抜します。特に、地域医療への理解、医学に対する知的関心と学習意欲、社会貢献への意欲を有する学生を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価し、個別学力検査等で英語および数学の2教科と面接を課して「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」、「将来性」を評価し、調査書を面接の参考資料として「主体性・多様性・協働性」「将来性」を評価します。

《一般選抜（後期日程）》

幅広い人間的視野を備え、人間性・創造性豊かな医師や医学研究者となりうる適性、資質、意欲を備えた人材を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価し、個別学力検査等で、小論文と面接を課して「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」、「将来性」を評価し、調査書を面接の参考資料として「主体性・多様性・協働性」、「将来性」を評価します。

秋田県地域枠による選抜については、秋田県修学資金受給の意思、卒業後に秋田県内の公的医療機関に勤務する意欲、地域医療の充実と向上に貢献する気概と意欲の有無を重視して選抜します。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 (主体性・多様性・協働性)		将来性
				関心・意欲・態度	協働性	
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○			
	個別学力検査（教科）	○	○			
	面接		○	○	○	○
	調査書			○	○	○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○			
	小論文	○	○	○		
	面接		○	○	○	○
	調査書			○	○	○

[保健学科]

《看護学専攻》

●求める人物像

1. 看護学に関する高い関心と看護職として人々の健康や生活を支えたいという意欲を持つ人
2. 豊かな人間性と協調性を備え、高い倫理性を育てられる人
3. 十分な基礎学力を持ち、探究心を持って主体的に学習できる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

- 国語—文章の的確な理解と論理的に思考し表現する力、およびコミュニケーション能力
- 英語—読解・表現に関わる幅広い基礎知識と英語でコミュニケーションをとろうとする積極性
- 数学—数学の基本的原理・法則の理解、正確な計算力と論理的な思考力
- 地歴・公民—地域社会の地理的・歴史的背景や仕組みを理解する力と社会情勢の変化に対する関心
- 理科—生命現象や自然の諸現象を科学的に考察し説明する能力

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち、かつ論理的に思考し、看護の実践ができる資質を備えた人を求めます。同時に国際的な視野を持ち、知的関心度が高く、かつ人間性に優れた人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「総合的な基礎学力」を評価し、個別学力検査等で英語と面接を課して「知識・技能」、「思考力・判断力」、「表現力」、「関心・意欲・態度」、「協調性」を評価します。

なお、調査書は面接の参考資料として評価に活用します。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	
			思考力・判断力	表現力	関心・意欲・態度	協調性
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○				
	個別学力検査（教科）	○	○			
	面接		○	○	○	○
	調査書				○	○

《理学療法学専攻》

●求める人物像

1. 理学療法学に対する強い関心や学習意欲を持つ人
2. 地域住民の健康増進や福祉に寄与したいとする意志と豊かな人間性を持つ人
3. グローバルな視野を持ち、科学的探究心の強い人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

国語・英語－地域社会や国際的分野において活躍できるための基礎的なコミュニケーション能力，読解力，思考力

数 学－数学の基本的な概念や原理・法則の理解，計算力と論理的な思考力

地歴・公民－地域や国際社会で良識を持った人間として活躍するために必要な知識や素養

理 科－全般的な基礎知識と科学的な探究心

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち，理学療法士としての適性，科学的・論理的思考能力とグローバルな視野を持った人を求めます。特に人間の理解と障害のある人への関心度の高い人を求めます。

そのため，大学入学共通テストで「総合的な基礎学力」を評価し，個別学力検査等で英語と面接を課して「知識・技能」，「思考力・判断力」，「関心・意欲・態度」，「協調性」を評価します。

なお，調査書は面接の参考資料として評価に活用します。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	
			思考力・判断力	表現力	関心・意欲・態度	協調性
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○				
	個別学力検査（教科）	○	○			
	面接		○	○	○	○
	調査書				○	○

《作業療法学専攻》

●求める人物像

1. 作業療法学に興味・関心があり，学習意欲と論理的思考能力を持つ人
2. 国際的な視野を持ち，科学的探究心の強い人
3. 地域の抱える諸問題に関心があり，他者をよく理解し，細やかな配慮や行動・発言ができる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

国語・英語－地域社会や国際的分野において活躍できるための基礎的なコミュニケーション能力，読解力，思考力

数 学－数学の基本的な概念や原理の理解，計算力と論理的な思考力

地歴・公民－将来，地域や国際社会で良識をもった人間として活躍するために必要な幅広い知識と教養

理 科－全般的な基礎知識と科学的な探究心

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

作業療法を学ぶために必要な，十分な基礎学力と優れたコミュニケーション能力および対人技能，国際的視野を持った人を求めます。特に，欧米や日本において発展してきた作業療法学の多様な考えかたや理論を理解する能力のある人を求めます。

そのため，大学入学共通テストで「総合的な基礎学力」を評価し，個別学力検査等で英語と面接を課して「英語の学力」，「コミュニケーション能力と対人技能」を評価します。

なお，調査書は面接の参考資料として評価に活用します。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	
			思考力・判断力	表現力	関心・意欲・態度	協調性
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○				
	個別学力検査（教科）	○	○			
	面接		○	○	○	○
	調査書				○	○

【理工学部】

◆育てる人間像

理工学の分野においては、人材育成と研究開発の「リージョナルセンター」として、創造力と技術力を兼ね備えた人材を供給するとともに、イノベーション創出により地域産業に更なる発展をもたらすことが期待されています。理工学部では、自ら課題を発見でき、新しい未知の分野の課題に対しても幅広い視野から、柔軟で総合的な判断で課題を解決していける人材を育成します。

●求める人物像

1. 理工学を学ぶために必要な基礎学力を身につけた人
2. エネルギー・環境問題、新しいものづくりと物質・デバイス創成、また少子高齢化や自然災害対策などの大きな社会的課題に関心を持ち、積極的に自己学習できる人
3. 研究者や技術者として世界や地域の発展に貢献する意欲を持つ人

【生命科学科】

●求める人物像

生命科学科では、生命倫理を十分に理解しながら、既存の枠組みにとらわれない独創的で、総合的・先端的な生命科学を築き上げる開拓者精神に富む学生を歓迎します。生命科学科は、次のような人を求めます。

1. 科学全般、特に生命科学に興味を持つ人
2. 生命科学を学ぶ上で必要な基礎学力を持ち、特に化学と生物についての十分な学力と国語や英語などの語学能力を高いレベルで持つ人
3. 勉学と研究に高い目標を持ち、それを達成しようとする強い意志を持つ人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります。）

数 学—各高校の教育課程で学ぶ数学科目（例えば、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」など）の理解に基づく数学的思考力

理 科—各高校の教育課程で学ぶ理科科目（例えば、「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」など）の理解に基づく科学的思考力

国語・英語—国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、表現力、読解力、思考力、論理的な構成能力

そ の 他—教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な、地理歴史、公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち、希望する分野を理論的・実践的に学び、社会に貢献する意欲を持っている人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。個別学力検査等で、数学と理科（「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」から一つ選択）の2教科を課して「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。調査書で「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

《一般選抜（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち、希望する分野に対して、高い関心と旺盛な勉学意欲を持っている人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。個別学力検査等で、数学を課して「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。また、面接を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、調査書を面接の参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 (主体性・多様性・協働性)
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査（教科）	○	○	
	調査書			○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査（教科）	○	○	
	面接	○	○	○
	調査書			○

[物質科学科]

●求める人物像

物質科学科では、原子・分子レベルからの物質設計ならびに製造技術を理解し、新機能性材料や新化学プロセス技術の創製に関する研究と開発ができる人材を養成することを使命と捉え、次のような人を入学者として求めます。

1. 物理や化学が好きで、探究心が旺盛な人
2. 化学的現象の解明や、化学を活かしたものづくりに興味がある人
3. 金属、半導体、セラミックスを利用した先端機能材料の開発に興味のある人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります。）

数 学—各高校の教育課程で学ぶ数学科目（例えば、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」など）の理解に基づく数学的思考力

理 科—各高校の教育課程で学ぶ理科科目（例えば、「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」など）の理解に基づく科学的思考力

国語・英語—国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、表現力、読解力、思考力、論理的な構成能力

そ の 他—教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な、地理歴史、公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

十分な学力を持ち、化学・材料科学を理論的・実践的に学び、社会に貢献する意欲を持っている人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。個別学力検査等で、数学と理科（「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」から一つ選択）の2教科を課して「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。調査書で「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

《一般選抜（後期日程）》

十分な学力を持ち、化学・材料科学を理論的・実践的に学び、社会に貢献する意欲を持っている人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。個別学力検査等で、数学を課して「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。また、面接を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、調査書を面接の参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 (主体性・多様性・協働性)
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査（教科）	○	○	
	調査書			○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査（教科）	○	○	
	面接	○	○	○
	調査書			○

[数理・電気電子情報学科]

●求める人物像

数理・電気電子情報学科では、数理科学、情報工学、電気電子工学に関する最先端の知識や技術を身に付け、また、複雑化する社会の到来に向けて、自ら学び、考えて、行動して、地域社会に貢献する技術者や研究者の育成を目指します。選考においては以下の点を重視します。

1. 数学や物理の持つ純粋科学の美しさと不思議さに惹かれ、物事や自然の原理や仕組みについて深く知りたいたいと思う強い気持ちがあり、粘り強く考えることが出来る人
2. 再生可能エネルギー、産業機器や家電に用いられる光・電子デバイス、情報通信技術や制御システムなどに興味があり、最先端の技術者や研究者を目指す意欲のある人
3. ヒトとコンピュータとの調和に配慮した高度な情報通信技術を学び、医療、福祉、環境、防災などの地域社会の課題解決や新たな価値創造に取り組みたい人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります。）

数 学—各高校の教育課程で学ぶ数学科目（例えば、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」など）の理解に基づく数学的思考力

理 科—各高校の教育課程で学ぶ理科学科目（例えば、「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」など）の理解に基づく科学的思考力

国語・英語—国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、表現力、読解力、思考力、論理的な構成能力

そ の 他—教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な、地理歴史、公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち、希望する分野を理論的・実践的に学び、社会に貢献する意欲を持っている人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。個別学力検査等で、数学と理科（「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」から一つ選択）の2教科を課して「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。調査書で「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

《一般選抜（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち、希望する分野に対して、高い関心と旺盛な勉学意欲を持っている人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。個別学力検査等で、数学を課して「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。また、面接を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、調査書を面接の参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 (主体性・多様性・協働性)
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査（教科）	○	○	
	調査書			○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査（教科）	○	○	
	面接	○	○	○
	調査書			○

[システムデザイン工学科]

●求める人物像

システムデザイン工学科では、環境、福祉、医療、都市、輸送、交通、防災など、社会の様々なシステムの問題に対して、基盤となる工学や技術を適切に応用し、自分で考えて問題解決できる人材の育成を目指し、次のような人を求めます。

1. 工学の基礎から実践までを学び、社会の要請に応え、地域社会へ積極的に貢献できる技術者
2. 持続的社会形成の必要性を理解し、創造的な技術開発に挑戦したい人
3. 様々な要素が複雑に絡みあう問題に対して、多面的に捉え柔軟な解決方法を提案できる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります。）

数 学—各高校の教育課程で学ぶ数学科目（例えば、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」など）の理解に基づく数学的思考力

理 科—各高校の教育課程で学ぶ理科科目（例えば、「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」など）の理解に基づく科学的思考力

国語・英語—国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、表現力、読解力、思考力、論理的な構成能力

そ の 他—教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な、地理歴史、公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち、希望する分野を理論的・実践的に学び、社会に貢献する意欲を持っている人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。個別学力検査等で、数学と理科（「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」から一つ選択）の2教科を課して「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。調査書で「知識・技能」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

《一般選抜（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち、希望する分野に対して、高い関心と旺盛な勉強意欲を持っている人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。個別学力検査等で、数学を課して「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。また、面接を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお、調査書を面接の参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 (主体性・多様性・協働性)
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査（教科）	○	○	
	調査書			○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査（教科）	○	○	
	面接	○	○	○
	調査書			○

I 募集人員

学部・学科・課程 専攻・コース			入 学 定 員	募 集 人 員								渡日前入学 許可制度に よる私費外 国人留学生 入 試	国際バ カロレ ア入試		
				一 般 選 抜		総 合 型 選 抜			学 校 推 薦 型 選 抜		私 費 外 国 人 留 学 生 入 試				
				前 期 日 程	後 期 日 程	I		II	I	II					
						出 願 資 格 A	出 願 資 格 B								
国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース	120	20	7	5		-	-	3	5	-	若干名		
		資源地球科学コース		20	5	5		-	-	5					
		資源開発環境コース		25	7	8		-	-	5					
	計		120	65	19	18		-	-	13	5				
教育文化学部	学校教育課程	教育実践コース	110	24	8	-		-	4	9	若干名	-	若干名		
		英語教育コース		6	2	-		-	-	2					
		理数教育コース		12	4	-		-	-	4					
		特別支援教育コース		12	3	-		-	-	-					
		こども発達コース		10	4	-		-	-	6					
	小 計		110	64	21	-		-	4	21					
	地域文化学科		100	60	10	8		-	-	22					
計		210	124	31	8		-	4	43						
医学部	医 学 科		124	注1 55	注2 24	-		-	-	注3 45	注1 若干名	-	-		
	保健学	看護学専攻	106	45	-	-		25	-	-	若干名	-	-		
		理学療法学専攻		10	-	-		8	-	-					
		作業療法学専攻		9	-	-		9	-	-					
	小 計		106	64	-	-		42	-	-					
計		230	119	24	-		42	-	45						
理工学部	生命科学科	生命科学コース	45	注4 a 15 b 8	6	8	2	4	-	-	2	若干名	若干名		
		物質科学科	応用化学コース	110	a 32	14	8	2	3	-	-			4	
	材料理工学コース		b 31		8		2	4	-	-	2				
	数理・電気電子情報学科	数理科学コース	120	a 34	18	4	-	2	-	-	3				
		電気電子工学コース		b 24		7	7	7	-	-	2				
		人間情報工学コース		5		2	3	-	-	2					
	システムデザイン工学科	機械工学コース	120	a 35	17	11	5	6	-	-	5				
		土木環境工学コース		b 26		5	2	7	-	-	1				
	計		395	注5 205	注5 55	56	22	36	-	-	21				
	合 計			955	513	129	104		78	4	101			26	

注1：医学部医学科の一般選抜前期日程の募集人員には、私費外国人留学生入試の募集人員（若干名）を含みます。

注2：24人のうち一般枠20人，秋田県地域枠4人となります。

注3：45人のうち一般枠20人，地域枠25人（秋田県地域枠20人程度，全国地域枠5人程度）となります。

注4：aとbでは大学入学共通テストと個別学力検査の配点が異なります。配点については34ページを参照してください。

注5：理工学部一般選抜（前期日程・後期日程）で合格した入学者は、入学した学科内の一つのコースへの配属を2年次進級の際に決定します。（生命科学科を除く。）

Ⅱ 一般選抜

1 出願資格

次のいずれかに該当する者

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および令和4年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和4年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則第150条（第6号を除く。）の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次のアからカのいずれかに該当する者および令和4年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - エ 文部科学大臣の指定した者
 - オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）で18歳に達したもの
 - カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

* ③のカによる出願は、本学において個別の入学資格審査を要するので、53～54ページを参照のうえ、申請してください。

なお、医学部医学科後期日程の秋田県地域枠に出願する場合は、上記①から③のいずれかの出願資格に加えて、「秋田県内の高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を卒業した者および令和4年3月卒業見込みの者」および「入学後は秋田県の修学資金の貸与を受けるとともに、医師免許取得後は、秋田県地域枠医師等キャリア形成プログラムに従って、定められた期間、義務履行することを確約できる者」が出願要件となります。

* 【医学部医学科：秋田県地域枠に関する事項】

地域枠の出願にあたっては、「秋田県地域枠医師等キャリア形成プログラム」を必読し、秋田県医学生修学資金制度を理解のうえ、出願してください。

秋田県医学生修学資金について

URL：<http://common3.pref.akita.lg.jp/ishikakuho/>

あきたの医師・医療情報総合サイト「秋田の医療情報、みてたんせ」

>秋田県の医師支援策>修学資金・研修資金>秋田県地域枠医師等キャリア形成プログラム

問合せ先：秋田県健康福祉部医務薬事課医療人材対策室 電話番号 018-860-1410

秋田の医療情報
みてたんせ

QRコード



2 入学者選抜方法等

(1) 選抜方法

大学入学共通テストの成績、本学が実施する個別学力検査等の成績および調査書の内容を総合して判定します。

なお、令和4年度大学入学共通テストにおいて、志望する学科、課程、専攻、コースの課す教科・科目のすべてを受験していない場合は出願しないでください。また、志望する学科、課程、専攻、コースの課す個別学力検査等の教科・科目等をすべて受けなければ合格者となりえません。

（大学入学共通テストの前年度以前の成績は利用しません。必ず、令和4年度大学入学共通テストを受験してください。）

(2) 2段階選抜

医学部医学科において、入学志願者が前期日程の募集人員（55名）の5倍、後期日程の一般枠、秋田県地域枠、それぞれの募集人員（一般枠20名、秋田県地域枠4名）の10倍を超えた場合、大学入学共通テストの成績（5教科7科目の素点計。ただし、英語はリーディングとリスニングの配点比率を4：1として200点満点に換算）により第1段階選抜を行うことがあります。

前期日程・後期日程ともに、**令和4年2月10日（木）14時以降に本学ホームページ**で次のとおりお知らせします。

- ① 第1段階選抜を実施した場合は、ホームページに実施した旨を掲載します。
また、合格者には、インターネット出願時に登録したメールアドレスに「合格通知および受験票印刷可能通知メール」を、不合格者には「不合格通知メール」を送付します。なお、不合格者はメールに記載の内容に従って入学検定料返還手続きを行ってください。
- ② 第1段階選抜を実施しなかった場合は、本学ホームページに実施しなかった旨を掲載します。43ページ「(6)受験票の印刷」の通知に従って受験票を印刷してください。
なお、第1段階選抜実施結果（可否）に関する電話の問い合わせには応じません。
また、2月16日（水）までに①または②の通知が届かない場合は、秋田大学入試課（電話018-889-2256）へ問い合わせてください。

(3) 受験方式の選択

理工学部の前期日程において、a、bの方式を設け、それぞれの方式で募集します。(以下「前期a」「前期b」とします。)

- ・前期aと前期bでは大学入学共通テストと個別学力検査の配点が異なります。各方式の配点については、34ページを参照してください。
- ・出願時にいずれかの方式を選択してください。出願後の変更はできません。

(4) 第2志望

国際資源学部および**理工学部**において、学部内に限り以下のとおり第2志望を認めます。
(第1志望：国際資源学部、第2志望：理工学部といった別の学部を志望することはできません)

【国際資源学部】

国際資源学部の資源地球科学コースと資源開発環境コースは前期日程・後期日程とも第2志望を認めます。

なお、第1志望で資源政策コースを志望する者は、第2志望を選択することはできません。資源地球科学コースまたは資源開発環境コースを第1志望とする者は、第2志望として資源政策コースを選択することはできません。

○は、第2志望とすることができるコース

第2志望とするコース		前期日程			後期日程		
		国際資源学科			国際資源学科		
		資源政策コース	科学資源地球コース	環境資源開発コース	資源政策コース	科学資源地球コース	環境資源開発コース
国際資源学部	資源政策コース		×	×		×	×
	資源地球科学コース	×		○	×		○
	資源開発環境コース	×	○		×	○	

【理工学部】

- ・前期日程において、第2志望は、前期a、前期bそれぞれの方式内でのみ全学科で認めます。
- ・後期日程において、第2志望は、全学科で認めます。
- ・前期日程の個別学力検査で「生物」を選択する者にとっては、第2志望が認められない学科があります。(30ページ参照)

(5) 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

大学入学共通テストにおいて受験を要する教科・科目の指定内容は27～29ページのとおりです。

注意事項も必ず確認してください。

1科目でも不足する場合は出願しないでください。出願後に科目の不足等が判明した場合は、受験ができません。

○大学入学共通テストの受験を要する教科・科目および注意事項

〔国際資源学部〕

教科・科目		受験を要する教科・科目名																													
		国語	地理歴史				公民				数学				理科				外国語												
学部・学科・コース	日程	国語	世界史 A	世界史 B	日本史 A	日本史 B	地理 A	地理 B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済	数学 I	数学 I・数学 A	数学 II	数学 II・数学 B	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
		国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース	前期	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○
後期	①				2										1	1	2				1										
②	◎		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
1	2										1	1	1				1														
国際資源学科	資源地球科学コース	前期	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国際資源学科	資源開発環境コース	後期	①	1										1	1	2				1											
			②	◎	1										1	1	2				1										

◎は必ず受験する科目、×は本学では採用しない科目、○および△は選択して受験を要する科目、その下欄の数字は必要科目数を示します。ただし、△の科目については、選択できる者に制限があります。

〔国際資源学部における注意事項〕

- ア 地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- イ 数学で「簿記・会計」および「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校もしくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）の者に限ります。
- ウ 理科で「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を選択する場合には、「同一名称を含む科目」を選択することができます。
- エ 英語にはリスニングを含みます。なお、リスニングの受験を免除された者については、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算して利用します。
- オ 大学入学共通テストで1科目を指定しているものうち、地理歴史・公民の試験時間において2科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の得点を合格判定に用います。
- カ 大学入学共通テストで1科目を指定しているものうち、「基礎を付さない」理科の試験時間において2科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の得点を合格判定に用います。
- キ それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。複数のパターンを満たす場合は、高得点のパターンを合格判定に用います。

〔教育文化学部〕

教科・科目		受験を要する教科・科目名																																						
学部・課程・学科等	日程	パターン	国語	地理歴史				公民			数学					理科				外国語																				
			国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学I	数学I・数学A	数学II	数学II・数学B	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語								
教育文化学部	教育実践コース	前期	①	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							
			②	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
		後期	③	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
			④	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
		英語教育コース	前期	①	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
				②	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	後期		①	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
			②	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	理数教育コース		前期	①	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
				②	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		後期	①	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
			②	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		特別支援教育コース	前期	①	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
				②	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	後期		③	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
			④	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	子ども発達コース		前期	①	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
				②	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		後期	③	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			④	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		地域文化学科	前期	①	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
				②	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	後期		③	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			④	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			⑤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			⑥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

◎は必ず受験する科目、×は本学では採用しない科目、○および△は選択して受験を要する科目、その下欄の数字は必要科目数を示します。ただし、△の科目については、選択できる者に制限があります。

〔教育文化学部における注意事項〕

- ア 地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- イ 数学で「簿記・会計」および「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校もしくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）の者に限ります。
- ウ 理科で「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を選択する場合には、「同一名称を含む科目」を選択することができます。
- エ 英語にはリスニングを含みます。なお、リスニングの受験を免除された者については、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算して利用します。
- オ 大学入学共通テストで1科目を指定しているものうち、地理歴史・公民の試験時間において2科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の得点を合格判定に用います。
- カ 大学入学共通テストで1科目を指定しているものうち、「基礎を付さない」理科の試験時間において2科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の得点を合格判定に用います。
- キ それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。複数のパターンを満たす場合は、高得点のパターンを合格判定に用います。

〔医学部〕

教科・科目			受験を要する教科・科目名																																
学部・学科等	日程	パターン	国語	地理歴史				公民			数学					理科					外国語														
			国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学I	数学I・数学A	数学II	数学II・数学B	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語			
医学部	医学科	前期後期	◎	×	○	×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	◎	×	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○		
		1					1						1			1									2							1			
	保健学科 看護学専攻 理学療法専攻 作業療法専攻	前期	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎	×	○	△	△	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
			1					1								1			1						2			1					1		
			②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎	×	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○
			1					1								1			1						2			2					1		
			③	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎	×	○	△	△	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○
			1					2								1			1						2			2					1		
④	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎	×	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○			
1					2								1			1						1			1					1					

◎は必ず受験する科目、×は本学では採用しない科目、○および△は選択して受験を要する科目、その下欄の数字は必要科目数を示します。ただし、△の科目については、選択できる者に制限があります。

〔医学部における注意事項〕

- ア 地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- イ 数学で「簿記・会計」および「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校もしくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）の者に限ります。
- ウ 理科で「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を選択する場合には、「同一名称を含む科目」を選択することができます。
- エ 英語にはリスニングを含みます。なお、リスニングの受験を免除された者については、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算して利用します。
- オ 大学入学共通テストで1科目を指定しているものうち、地理歴史・公民の試験時間において2科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の得点を合格判定に用います。
- カ 大学入学共通テストで1科目を指定しているものうち、「基礎を付さない」理科の試験時間において2科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の得点を合格判定に用います。
- キ それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。複数のパターンを満たす場合は、高得点のパターンを合格判定に用います。

〔理工学部〕

教科・科目			受験を要する教科・科目名																													
学部・学科・コース	日程	パターン	国語	地理歴史				公民			数学					理科					外国語											
			国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学I	数学I・数学A	数学II	数学II・数学B	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
理工学部	前期後期	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○
			1					1						1		1						2			1					1		
		②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○
			1					1						1		1						2			2					1		

◎は必ず受験する科目、×は本学では採用しない科目、○および△は選択して受験を要する科目、その下欄の数字は必要科目数を示します。ただし、△の科目については、選択できる者に制限があります。

〔理工学部における注意事項〕

- ア 数学で「簿記・会計」および「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校もしくは中等教育学校の専門教育を主とする学科（理数科を除く。）または総合学科の卒業（見込み）者ならびに文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）の者に限ります。
- イ 理科で「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を選択する場合には、「同一名称を含む科目」を選択することができます。
- ウ 英語にはリスニングを含みます。なお、リスニングの受験を免除された者については、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算して利用します。
- エ 大学入学共通テストで1科目を指定しているものうち、地理歴史・公民の試験時間において2科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の得点を合格判定に用います。
- オ それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。

(6) 個別学力検査等の実施教科・科目等

【前期日程】

学部・学科・課程 専攻・コース		実 施 教 科 等		受験を要する 教科等	
		教科等	出 題 科 目 お よ び 範 囲 採 点 ・ 評 価 の 観 点 ， 基 準 等		
国際資源学部	資源政策コース	国 語	「国語総合」の近代以降の文章。(古文、漢文との融合問題を含むことがあります。)	2教科	
		外国語(英語)	コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、英語表現Ⅰ、Ⅱ(英語資格等の活用制度あり。36ページ参照)		
	資源地球科学コース	数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B	3教科 [理科は、物理、 化学、生物、地学 から1科目選択]	
		理 科	(物理)		物理基礎・物理
			(化学)		化学基礎・化学
			(生物)		生物基礎・生物
	外国語(英語)	コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、英語表現Ⅰ、Ⅱ(英語資格等の活用制度あり。36ページ参照)			
	資源開発環境コース	数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B	3教科 [理科は、物理、 化学、生物、地学 から1科目選択]	
		理 科	(物理)		物理基礎・物理
(化学)			化学基礎・化学		
(生物)			生物基礎・生物		
外国語(英語)	コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、英語表現Ⅰ、Ⅱ(英語資格等の活用制度あり。36ページ参照)				
教育文化学部	教育実践コース	国 語	「国語総合」の近代以降の文章。(古文、漢文との融合問題を含むことがあります。)	4教科等(実技検査を含む。)から2教科等選択	
		数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B		
		外国語(英語)	コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、英語表現Ⅰ、Ⅱ		
		実技検査	31ページ参照		
	英語教育コース	国 語	「国語総合」の近代以降の文章。(古文、漢文との融合問題を含むことがあります。)	2教科と面接	
		外国語(英語)	コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、英語表現Ⅰ、Ⅱ(リスニングおよびスピーキングを含みます。)		
	理数教育コース	面 接	多様な人々と協働して学ぶ態度および英語教育を追究する意欲および適性を、日本語による面接を通してみます。	3教科から2教科選択 [理科選択の場合、物理、化学、生物、地学から1科目]	
		数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B		
		理 科	外国語(英語)		コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、英語表現Ⅰ、Ⅱ
			(物理)		物理基礎・物理
(化学)	化学基礎・化学				
特別支援教育コース こども発達コース	国 語	「国語総合」の近代以降の文章。(古文、漢文との融合問題を含むことがあります。)	3教科から2教科選択		
	数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B			
地域文化学科	外国語(英語)	コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、英語表現Ⅰ、Ⅱ	3教科から2教科選択		
	国 語	「国語総合」の近代以降の文章。(古文、漢文との融合問題を含むことがあります。)			
	数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B			
医学部	医 学 科	数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B	2教科と面接	
		外国語(英語)	コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、英語表現Ⅰ、Ⅱ		
	保健学科	面 接	医師としての適性、即ちコミュニケーション能力・科学的思考・論理的思考、医師としての倫理性、社会への関心度、積極性・意欲・将来性等について評価します。(個別面接)	1教科と面接	
看護学専攻 理学療法専攻 作業療法専攻	外国語(英語)	コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、英語表現Ⅰ、Ⅱ			
理工学部	生命科学科 生命科学コース 数理・電気電子情報学科 数理科学コース 電気電子工学コース 人間情報工学コース	数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B	2教科 [理科は、物理、 化学、生物から 1科目選択]	
		理 科	(物理)		物理基礎・物理
			(化学)		化学基礎・化学
			(生物)		生物基礎・生物
	物質科学科 応用化学コース 材料理工学コース システムデザイン工学科 機械工学コース 土木環境工学コース	数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B	2教科 [理科は、物理、 化学から1科目 選択]	
		理 科	(物理)		物理基礎・物理
	(化学)		化学基礎・化学		

注1) 数学の数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aの出題範囲は、高等学校学習指導要領に記載されている全項目を出題範囲とします。ただし、数学Bは「数列」および「ベクトル」を出題範囲とします。

注2) 理工学部の前期 a、前期 b における試験問題は同一のものです。

教育文化学部 学校教育課程 教育実践コース

次に掲げる【音楽】、【美術】または【体育】から、いずれか1教科を選択して受験してください。

【音楽】

《内容》

次の①、②を受験してください。

①共通課題

ピアノ……ツェルニー40番練習曲から任意の1曲（暗譜、繰り返しなし）

②選択課題……次の1), 2), 3)のうちから1つを選択して受験してください。

1) ピアノ……任意の楽曲（暗譜、繰り返しなし）

2) 声 楽……（以下の4曲から1曲を選び、原語および暗譜で演奏）

a. 滝廉太郎作曲 荒城の月 ニ短調

b. A. スカルラッティ作曲 Già il sole dal Gange 変イ長調

c. A. スカルラッティ作曲 Son tutta duolo ト短調

d. C.W. グルック作曲 O del mio dolce ardor ホ短調

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、試験当日に声楽の生演奏による実技検査は行いません。事前に各自でピアノ伴奏付き演奏動画をMP4形式で作成し、その動画データを保存したUSBフラッシュメモリを試験当日に必ず持参してください。動画の撮影場所は問いません。撮影の際にはカメラを固定し、演奏者が志願者本人とわかるよう留意してください。

3) 管楽器、弦楽器、打楽器、和楽器のうちから1つの楽器を選び、任意の独奏曲を暗譜、無伴奏で演奏

※ 無伴奏の作品は独奏譜を、ピアノ伴奏付き独奏曲は伴奏譜を出願時に提出してください。

なお楽譜には楽器名を記載し、前期日程と明記してください。

使用する楽器は次に示すものとし、各自持参してください。

ただし、マリンバ（Cスケール、4オクターヴ）は大学で用意します。

管楽器……フルート、オーボエ、クラリネット、サクソフォーン、ファゴット、ホルン、
トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、テューバ

弦楽器……ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

打楽器……マリンバ

和楽器……三味線、箏、尺八

《採点・評価の基準》

技術力、表現力を中心に採点・評価します。

【美術】

《内容》

実技の内容：静物描写（3時間）

※出願時に、次の①から③の表現方法の中からいずれかを選択したうえで受験してください。

①鉛筆 ②木炭 ③水彩

実技検査に必要なもの：上記①から③に応じて、当日持参してください。

「①鉛筆」の場合：鉛筆、消しゴム

「②木炭」の場合：木炭、練り消しゴムやパンなど

「③水彩」の場合：水彩用具一式、鉛筆、消しゴム

《採点・評価の基準》

造形能力、表現能力、課題解決能力を中心に採点・評価します。

【体育】

《内容》

次の運動種目①から⑩のうちから1種目を選択して受験してください。

運動種目 ①陸上競技（競走、跳躍、または投てき） ②器械運動（跳び箱運動およびマット運動）

③バレーボール ④バスケットボール ⑤サッカー ⑥ハンドボール ⑦卓球 ⑧柔道

⑨ダンス ⑩基礎運動能力（シャトルラン、反復横とび、および握力）

注1) ①から⑦および⑨、⑩の運動種目を選択する者は、体育館用シューズを持参してください。

⑦卓球を選択する者は、ラケットを持参してください。

⑧柔道を選択する者は、柔道衣を持参してください。

注2) 出願書類と同時に提出するもの：スポーツ活動の調書（本学指定の様式）

調書には、調書に記載した各種大会出場等における成績（順位、タイムなど）などを証明する資料を添付すること。（記載事項がない場合も調書は必ず提出してください。）

※証明する資料とは、大会プログラム、メンバー表、賞状、認定証、ランキング表、新聞や専門雑誌の切り抜きなどです。（いずれもコピーにて可。資料は可能な限りA4判としてください。）

《採点・評価の基準》

運動能力、技術力を中心に採点・評価します。

【後期日程】

学部・学科・課程・コース		実 施 教 科 等		受験を要する 教科等	
		教科等	出 題 科 目 お よ び 範 囲 採 点 ・ 評 価 の 観 点 , 基 準 等		
国際 資源 学部	国際 資源 学科	資源政策コース	小論文	「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。	小論文 および 面接
			面接	「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力」, 「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。	
		資源地球科学コース	小論文	「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。	小論文 および 面接
面接	「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力」, 「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。				
		資源開発環境コース	小論文	「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。	小論文 および 面接
			面接	「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力」, 「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。	
教育文化 学部	学校 教育 課程	教育実践コース	実技検査	33ページ参照	実技検査 または 小論文
			小論文	教員の資質形成の基礎となる読解力, 理論的思考能力, 個性的な発想力, 文章表現力をみます。	
			面接	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度をみるために, これまでの学業や課外活動等の取り組みや業績及び入学後の意欲を評価します。	
		英語教育コース	外国語 (英語)	コミュニケーション英語Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, 英語表現Ⅰ, Ⅱ (スピーキングのみです。)	英語, 小論文 および面接
			小論文	英語教員の資質形成の基礎となる論理的思考能力および英語運用能力を英語によるライティングテストを通してみます。	
				面接	多様な人々と協働して学ぶ態度および英語教育を追究する意欲および適性を, 日本語による面接を通してみます。
		理数教育コース	面接	板書等による記述を含む, 思考力, 表現力を問う面接を行います。また, 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度をみます。	
		特別支援教育コース	小論文	教育や福祉, 障害に関する基礎的なテーマについて, 論理構成力, 独創性, 文章表現力をみます。	小論文 および 面接
			面接	主体的に特別支援教育への理解を深め, 多様な人々と協働して障害のある人を支援する意欲や態度をみます。	
		こども発達コース	記述問題	現代の文化・社会や教育・保育に関する資料を素材にして設問し, 論述させ, 文章や図表の理解力, 思考力および表現力をみます。	記述問題 および 面接
面接	教育, 保育および子どもの発達に関する試問を含む面接を通して, 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度や, 目的意識, 学習意欲, 思考力および表現力をみます。				
地域文化学科	小論文	社会や文化に関する課題文に提起されている問題点を的確に読み取り, 高等学校等までで学んだ基礎知識に基づいてその問題点を考察し, 自分の見解を論理的かつ説得力をもって文章化する能力をみます。	小論文 および 面接		
	面接	地域文化学科における人材養成の目的・目標をよく理解したうえで, 志望理由および入学後の学習の目標等を明確かつ簡潔に表現できる能力をみます。同時に関連諸分野への関心の高さおよび主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度をみます。			
医学部	医 学 科	小論文	社会・文化・自然科学・医療等に関する日本語および英語の文章を素材にしていくつかの設問をし, それに対して論述させ, 理解力・思考力・表現力等をみます。	小論文 および 面接	
		面接	医師としての適性, 即ちコミュニケーション能力・科学的思考・論理的思考, 医師としての倫理性, 社会への関心度, 積極性・意欲・将来性等について評価します。(個別面接)		
理工学部	生命科学科 生命科学コース 物質科学科 応用化学コース 材料理工学コース 数理・電気電子情報学科 数理科学コース 電気電子工学コース 人間情報工学コース システムデザイン工学科 機械工学コース 土木環境工学コース	数 学	数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A, 数学B (数学の出題範囲は, 高等学校学習指導要領に記載されている全項目を出題範囲とします。ただし, 数学Bは「数列」および「ベクトル」を出題範囲とします。)	数 学 および 面接	
		面接	「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力」, 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。(個別面接または集団面接)		

次に掲げる【音楽】，【美術】または【体育】から、いずれか1教科を選択して受験してください。

【音楽】

《内容》

次の①，②を受験してください。

①共通課題

ピアノ……ツェルニー40番練習曲から任意の1曲（暗譜，繰り返しなし）

②選択課題……次の1)，2)，3)のうちから1つを選択して受験してください。

1) ピアノ……任意の楽曲（暗譜，繰り返しなし）

2) 声 楽……（以下の4曲から1曲を選び，原語および暗譜で演奏）

a. 滝廉太郎作曲 荒城の月 ニ短調

b. A. スカルラッティ作曲 Già il sole dal Gange 変イ長調

c. A. スカルラッティ作曲 Son tutta duolo ト短調

d. C.W. グルック作曲 O del mio dolce ardor ホ短調

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため，試験当日に声楽の生演奏による実技検査は行いません。事前に各自でピアノ伴奏付き演奏動画をMP4形式で作成し，その動画データを保存したUSBフラッシュメモリを試験当日に必ず持参してください。動画の撮影場所は問いません。撮影の際にはカメラを固定し，演奏者が志願者本人とわかるよう留意してください。

3) 管楽器，弦楽器，打楽器，和楽器のうちから1つの楽器を選び，任意の独奏曲を暗譜，無伴奏で演奏

※ 無伴奏の作品は独奏譜を，ピアノ伴奏付き独奏曲は伴奏譜を出願時に提出してください。

なお楽譜には楽器名を記載し，後期日程と明記してください。

使用する楽器は次に示すものとし，各自持参してください。

ただし，マリンバ（Cスケール，4オクターヴ）は大学で用意します。

管楽器……フルート，オーボエ，クラリネット，サクソフォーン，ファゴット，ホルン，
トランペット，トロンボーン，ユーフォニアム，テューバ

弦楽器……ヴァイオリン，ヴィオラ，チェロ，コントラバス

打楽器……マリンバ

和楽器……三味線，箏，尺八

《採点・評価の基準》

技術力，表現力を中心に採点・評価します。

【美術】

《内容》

実技の内容：静物描写（3時間）

※出願時に，次の①から③の表現方法の中からいずれかを選択したうえで受験してください。

①鉛筆 ②木炭 ③水彩

実技検査に必要なもの：上記①から③に応じて，当日持参してください。

「①鉛筆」の場合：鉛筆，消しゴム

「②木炭」の場合：木炭，練り消しゴムやパンなど

「③水彩」の場合：水彩用具一式，鉛筆，消しゴム

《採点・評価の基準》

造形能力，表現能力，課題解決能力を中心に採点・評価します。

【体育】

《内容》

次の運動種目①から⑧のうちから1種目を選択して受験してください。

運動種目 ①陸上競技（競走，跳躍，または投てき） ②バレーボール ③バスケットボール

④サッカー ⑤ハンドボール ⑥卓球 ⑦柔道 ⑧ダンス

注1) ①から⑥および⑧の運動種目を選択する者は，体育館用シューズを持参してください。

⑥卓球を選択する者は，ラケットを持参してください。

⑦柔道を選択する者は，柔道衣を持参してください。

注2) 出願書類と同時に提出するもの：スポーツ活動の調書（本学指定の様式）

調書には，調書に記載した各種大会出場等における成績（順位，タイムなど）などを証明する資料を添付すること。（記載事項がない場合も調書は必ず提出してください。）

※証明する資料とは，大会プログラム，メンバー表，賞状，認定証，ランキング表，新聞や専門雑誌の切り抜きなどです。（いずれもコピーにて可。資料は可能な限りA4判としてください。）

《採点・評価の基準》

運動能力，技術力を中心に採点・評価します。

(7) 大学入学共通テストおよび個別学力検査等の配点

【前期日程】

学部・学科・課程等		試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	実技検査	小論文	面接	調査書	合計		
国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース	大学入学共通テスト 200 (200×1.0×1)	200 (100×1.0×2)	200 (100×1.0×2)	100 (100×1.0×1)	200 (200×1.0×1)				900	1420		
		個別学力検査等	250				250			20	520			
	資源地球科学コース 資源開発環境コース	大学入学共通テスト	200 (200×1.0×1)	50 (100×0.5×1)	200 (100×1.0×2)	200 (100×1.0×2)	200 (200×1.0×1)				850	1320		
		個別学力検査等			200	150	100			20	470			
教育文化学部	学校教育課程	教育実践コース	大学入学共通テスト	200×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	200×2/3				600	1010	
			個別学力検査等	#200		#200		#200	#200		10	410		
		英語教育コース	大学入学共通テスト	200×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	200×2/3				600		1010
			個別学力検査等	100				注6 300		10		410		
	理数教育コース	大学入学共通テスト	200×2/3	100×2/3	200×2/3	200×2/3	200×2/3				600	1010		
		個別学力検査等			#200	#200	#200			10	410			
	特別支援教育コース こども発達コース	大学入学共通テスト	200×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	200×2/3				600	1010		
		個別学力検査等	#200		#200		#200			10	410			
地域文化学科	大学入学共通テスト	200×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	200×2/3				600	1010			
	個別学力検査等	#200		#200		#200			10	410				
医学部	医学科	大学入学共通テスト	100 (200×0.5×1)	50 (100×0.5×1)	100 (100×0.5×2)	200 (100×1.0×2)	100 (200×0.5×1)				550	950		
		個別学力検査等			100		100		200	400				
	保健学科	看護学専攻	大学入学共通テスト	160 (200×0.8×1)	※80 (100×0.8×1) ※80 (100×0.8×1)	160 (100×0.8×2)	※80 (100×0.8×1) ※80 (100×0.8×1)	160 (200×0.8×1)				720	1030	
			個別学力検査等					100		100	200			
		理学療法専攻	大学入学共通テスト	140 (200×0.7×1)	※70 (100×0.7×1) ※70 (100×0.7×1)	140 (100×0.7×2)	※70 (100×0.7×1) ※70 (100×0.7×1)	140 (200×0.7×1)				630		
			個別学力検査等					200		200	400			
	作業療法専攻	大学入学共通テスト	140 (200×0.7×1)	※70 (100×0.7×1) ※70 (100×0.7×1)	140 (100×0.7×2)	※70 (100×0.7×1) ※70 (100×0.7×1)	140 (200×0.7×1)				630			
		個別学力検査等					200		200	400				
理工学部	生命科学科 生命科学コース 物質科学科 応用化学コース 材料理工学コース	a	大学入学共通テスト	100 (200×0.5×1)	50 (100×0.5×1)	200 (100×1.0×2)	200 (100×1.0×2)	200 (200×1.0×1)			750	1170		
			個別学力検査等			250	150			20	420			
	数理工学コース 電気電子工学コース 人間情報工学コース システムデザイン工学科 機械工学コース 土木環境工学コース	b	大学入学共通テスト	25 (200×0.125×1)	25 (100×0.25×1)	100 (100×0.5×2)	100 (100×0.5×2)	100 (200×0.5×1)			350	1170		
			個別学力検査等			500	300			20	820			

注1：大学入学共通テスト欄の（ ）内は、大学入学共通テストの素点、傾斜率および科目数を示します。(素点×傾斜率×科目数)
 注2：大学入学共通テストの理科の素点は、「基礎を付した科目」2科目選択で100点、「基礎を付さない科目」1科目選択で100点とします。
 注3：大学入学共通テストの外国語で「英語」を選択した場合は、「リーディング」と「リスニング」の配点比率を、国際資源学部と理工学部は1：1とし、教育文化学部と医学部は4：1とします。なお、リスニングの受験を免除された者については、リーディング(100点満点)の成績を200点満点に換算して利用します。
 注4：教育文化学部および医学部保健学科の大学入学共通テスト欄の※印は、このうちから必要科目を選択するものです。
 注5：教育文化学部の個別学力検査欄の#印は、2教科を選択するものです。
 注6：教育文化学部学校教育課程英語教育コースの外国語(英語)の配点内訳は、筆記200点、スピーキング50点、リスニング50点とします。
 注7：理工学部のa・bにおける個別学力検査の試験問題は、同一のものです。

【後期日程】

学部・学科・課程等			試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	実技検査	小論文	面接	合計				
国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース	大学入学共通テスト 個別学力検査等	200 (200×1.0×1)	200 (100×1.0×2)	200 (100×1.0×2)	100 (100×1.0×1)	200 (200×1.0×1)				900	1400			
		資源地球科学コース 資源開発環境コース	大学入学共通テスト 個別学力検査等	200 (200×1.0×1)	50 (100×0.5×1)	300 (100×1.5×2)	300 (100×1.5×2)	200 (200×1.0×1)			200	300		500		
教育文化学部	学校教育課程	教育実践コース	大学入学共通テスト 個別学力検査等	200×7/9	※100×7/9 ※100×7/9	※100×7/9 ※100×7/9	※100×7/9 ※100×7/9	200×7/9		#300	#300	50	350	700	1050	
		英語教育コース	大学入学共通テスト 個別学力検査等	200 (200×1.0×1)	100 (100×1.0×1)	50 (100×0.5×1)	50 (100×0.5×1)	200 (200×1.0×1)	200		200	50	450	600	1050	
		理数教育コース	大学入学共通テスト 個別学力検査等	200×8/13	100×8/13	(200×2)×8/13	(200×2)×8/13	200×8/13					250	250	800	1050
		特別支援教育コース	大学入学共通テスト 個別学力検査等	200×5/9	※100×5/9 ※100×5/9	※100×5/9 ※100×5/9	※100×5/9 ※100×5/9	200×5/9			250	300	550	500	1050	
		こども発達コース	大学入学共通テスト 個別学力検査等	200×5/9	※100×5/9 ※100×5/9	※100×5/9 ※100×5/9	※100×5/9 ※100×5/9	200×5/9			250 [記述]	300	550	500	1050	
		地域文化学科	大学入学共通テスト 個別学力検査等	200×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	200×2/3			300	150	450	600	1050	
医学部	医学科	一般枠	大学入学共通テスト 個別学力検査等	150 (200×0.75×1)	50 (100×0.5×1)	150 (100×0.75×2)	200 (100×1.0×2)	150 (200×0.75×1)				700	300	1000		
		秋田県地域枠	大学入学共通テスト 個別学力検査等	100 (200×0.5×1)	50 (100×0.5×1)	100 (100×0.5×2)	100 (100×0.5×2)	100 (200×0.5×1)			100	150	250	450	700	
理工学部	生命科学科 生命科学コース 物質科学科 応用化学コース 材料理工学コース 数理・電気電子情報学科 数理学科 電気電子工学コース 人間情報工学コース システムデザイン工学科 機械工学コース 土木環境工学コース	大学入学共通テスト	100 (200×0.5×1)	50 (100×0.5×1)	200 (100×1.0×2)	200 (100×1.0×2)	200 (200×1.0×1)					750				
		個別学力検査等			100						200	300		1050		

- 注1：大学入学共通テスト欄の（ ）内は、大学入学共通テストの素点、傾斜率および科目数を示します。(素点×傾斜率×科目数)
 注2：大学入学共通テストの理科の素点は、「基礎を付した科目」2科目選択で100点、「基礎を付さない科目」1科目選択で100点とします。
 注3：大学入学共通テストの外国語で「英語」を選択した場合は、「リーディング」と「リスニング」の配点比率を、国際資源学部と理工学部は1：1とし、教育文化学部と医学部は4：1とします。なお、リスニングの受験を免除された者については、リーディング(100点満点)の成績を200点満点に換算して利用します。
 注4：教育文化学部の大学入学共通テスト欄の※印は、このうちから必要科目を選択するものです。
 注5：教育文化学部学校教育課程教育実践コースの個別学力検査欄の#印は、1科目等を選択するものです。
 注6：教育文化学部学校教育課程こども発達コースの小論文欄は、記述問題の配点を示します。

(8) 英語資格等の活用

国際資源学部では、次の①から⑤のいずれかの要件を満たしている者は、個別学力検査の「英語」科目を免除し、満点と換算して合否判定します。「英語」科目免除の可否については、別途通知します。

英語資格等	スコア等
①TOEFL iBT	61点以上
②TOEFL ITP	500点以上
③TOEIC L&R	730点以上
④IELTS	6.0以上
⑤英検	準1級以上

注) 令和2年(2020年)1月以降に受験したものを対象とします。当該スコア等を証明する書類を出願書類と同時に提出してください。(42ページ<該当者が提出するもの>参照)

(9) 合格者の決定

学部等	試験日程	合格者の決定方法																								
国際資源学部	前期日程 後期日程	<ol style="list-style-type: none"> 1 大学入学共通テストと個別学力検査等(前期日程は調査書の得点を含む。)の総合点に基づき合格者を決めます。 2 第2志望は、第1志望のコースが募集人員を充足し、かつ第2志望のコースがまだ募集人員を充足しない場合においてのみ、合格者の対象となります。 3 総合点が同点の場合には、同順位として取り扱いします。 																								
教育学部	前期日程	<ol style="list-style-type: none"> 1 大学入学共通テストと個別学力検査等(調査書の得点を含む。)の総合点に基づき合格者を決めます。ただし、大学入学共通テストの合格判定に用いる科目と個別学力検査等(調査書の得点を除く。)に無得点の科目がある場合は、合計点にかかわらず合格者としません。なお、総合点が同点の場合には、同順位として取り扱いします。 2 次の課程では、個別学力検査のうちの指定科目の得点が基準点に満たない者は、合計点にかかわらず合格者としません。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>課程・コース</th> <th>指定科目(基準点:総点の4割)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校教育課程・教育実践コース</td> <td>筆記試験(80点), 実技検査(80点)</td> </tr> </tbody> </table> 3 学校教育課程教育実践コースでの合格予定者数は、個別学力検査等の選択科目ごとに、おおむね次のとおりとします。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>受験科目</th> <th>合格予定者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語, 英語または数学から2科目受験者</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>実技検査(音楽)受験者</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>実技検査(美術)受験者</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>実技検査(体育)受験者</td> <td>5人</td> </tr> </tbody> </table> 	課程・コース	指定科目(基準点:総点の4割)	学校教育課程・教育実践コース	筆記試験(80点), 実技検査(80点)	受験科目	合格予定者数	国語, 英語または数学から2科目受験者	15人	実技検査(音楽)受験者	2人	実技検査(美術)受験者	2人	実技検査(体育)受験者	5人										
	課程・コース	指定科目(基準点:総点の4割)																								
学校教育課程・教育実践コース	筆記試験(80点), 実技検査(80点)																									
受験科目	合格予定者数																									
国語, 英語または数学から2科目受験者	15人																									
実技検査(音楽)受験者	2人																									
実技検査(美術)受験者	2人																									
実技検査(体育)受験者	5人																									
後期日程	<ol style="list-style-type: none"> 1 大学入学共通テストと個別学力検査等の総合点に基づき合格者を決めます。ただし、大学入学共通テストの合格判定に用いる科目と個別学力検査等は無得点の科目がある場合は、合計点にかかわらず合格者としません。なお、総合点が同点の場合には、同順位として取り扱いします。 2 次の学科・課程では、個別学力検査等のうちの指定科目の得点が基準点に満たない者は、合計点にかかわらず合格者としません。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>学科・課程等</th> <th>指定科目(基準点:総点の4割)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">学校教育課程</td> <td>教育実践コース</td> <td>実技検査(120点), 小論文(120点)</td> </tr> <tr> <td>英語教育コース</td> <td>英語(80点), 小論文(80点)</td> </tr> <tr> <td>理数教育コース</td> <td>面接(100点)</td> </tr> <tr> <td>特別支援教育コース</td> <td>小論文(100点), 面接(120点)</td> </tr> <tr> <td>こども発達コース</td> <td>記述問題(100点), 面接(120点)</td> </tr> <tr> <td>地域文化学科</td> <td>小論文(120点), 面接(60点)</td> </tr> </tbody> </table> 3 学校教育課程教育実践コースでの合格予定者数は、個別学力検査等の選択科目ごとに、おおむね次のとおりとします。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>受験科目</th> <th>合格予定者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小論文</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>実技検査(音楽)</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>実技検査(美術)</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>実技検査(体育)</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table> 	学科・課程等	指定科目(基準点:総点の4割)	学校教育課程	教育実践コース	実技検査(120点), 小論文(120点)	英語教育コース	英語(80点), 小論文(80点)	理数教育コース	面接(100点)	特別支援教育コース	小論文(100点), 面接(120点)	こども発達コース	記述問題(100点), 面接(120点)	地域文化学科	小論文(120点), 面接(60点)	受験科目	合格予定者数	小論文	3人	実技検査(音楽)	2人	実技検査(美術)	1人	実技検査(体育)	2人
学科・課程等	指定科目(基準点:総点の4割)																									
学校教育課程	教育実践コース	実技検査(120点), 小論文(120点)																								
	英語教育コース	英語(80点), 小論文(80点)																								
	理数教育コース	面接(100点)																								
	特別支援教育コース	小論文(100点), 面接(120点)																								
	こども発達コース	記述問題(100点), 面接(120点)																								
地域文化学科	小論文(120点), 面接(60点)																									
受験科目	合格予定者数																									
小論文	3人																									
実技検査(音楽)	2人																									
実技検査(美術)	1人																									
実技検査(体育)	2人																									
医学部	前期日程 後期日程	<ol style="list-style-type: none"> 1 大学入学共通テストと個別学力検査等の総合点に基づき合格者を決めます。 2 面接において面接員が「不可」の判定をした場合は、合格者としません。 3 総合点が同点の場合には、医師としてより適性があると思われる者を上位とします。 																								
	保健学科	<ol style="list-style-type: none"> 1 大学入学共通テストと個別学力検査等の総合点に基づき合格者を決めます。 2 面接において面接員が「不可」の判定をした場合は、合格者としません。 3 総合点が同点の場合には、個別学力検査等の成績上位者を優先します。 																								
理工学部	前期日程 後期日程	<ol style="list-style-type: none"> 1 大学入学共通テストと個別学力検査等(前期日程は調査書の得点を含む。)の総合点に基づいて合格者を決めます。 2 第2志望は、第1志望の学科が募集人員を充足し、かつ第2志望の学科がまだ募集人員を充足していない場合においてのみ、合格者の対象となります。 3 総合点が同点の場合には、同順位として取り扱いします。 4 前期日程においては、前期a, 前期bそれぞれの方式で合格者を決めます。 																								

3 個別学力検査等の日程および試験場

(1) 日程

【前期日程】

学部等		期 日	教科・科目等	時 間
国際資源学部		令和4年2月25日(金)	英 語	9:00 ~ 10:00 60分
			数 学	10:50 ~ 12:20 90分
			国 語	13:20 ~ 14:20 60分
			理 科	13:20 ~ 14:20 60分
教育文化学部	令和4年2月25日(金)	英 語	9:00 ~ 10:00 60分	
		リスニング (英語教育コースのみ)	10:50 ~ 11:35 45分	
		数 学	10:50 ~ 12:20 90分	
		国 語	13:20 ~ 14:20 60分	
		理 科	13:20 ~ 14:20 60分	
	スピーキング・面接 (英語教育コースのみ)	14:50 ~ 18:00		
	令和4年2月26日(土)	実技検査(音楽)	9:00 ~ 12:00(集合 8:30)	
実技検査(美術)				
実技検査(体育)		9:00 ~ 16:00(集合 8:30)		
医 学 部	医 学 科	令和4年2月25日(金)	英 語	9:00 ~ 10:00 60分
			数 学	10:50 ~ 12:20 90分
			面接オリエンテーション	12:30 ~ 12:50 20分
	保 健 学 科	令和4年2月25日(金)	英 語	9:00 ~ 10:00 60分
			面 接	10:30 ~ 17:00
理 工 学 部		令和4年2月25日(金)	数 学	10:50 ~ 12:20 90分
			理 科	13:20 ~ 14:20 60分

注) 面接および実技検査の終了時刻は、受験者数により変わる場合があります。

【後期日程】

学部等		期 日	教科・科目等	時 間
国際資源学部		令和4年3月12日(土)	小 論 文	10:30 ~ 11:30 60分
			面 接	12:30 ~ 18:00
教育文化学部		令和4年3月12日(土)	小論文, 記述問題	9:00 ~ 10:00 60分
			面 接	10:30 ~ 17:00
			スピーキング・面接 (英語教育コース)	10:30 ~ 17:00
			面 接 (理数教育コース)	9:00 ~ 17:00(集合 8:30)
			実技検査・面接 (音 楽)	9:00 ~ 16:00(集合 8:30)
			実技検査・面接 (美 術)	
実技検査・面接 (体 育)	9:00 ~ 18:00(集合 8:30)			
医 学 部	医 学 科	令和4年3月12日(土)	小 論 文	9:00 ~ 11:00 120分
			面 接	11:30 ~ 18:00
理 工 学 部		令和4年3月12日(土)	数 学	9:00 ~ 9:45 45分
			面 接	10:45 ~ 17:00

注) 面接および実技検査の終了時刻は、受験者数により変わる場合があります。

(2) 試験場

学部等		日程	※ 試験場
国際資源学部		前期日程	国際資源学部秋田試験場 秋田大学手形キャンパス：秋田市手形学園町1番1号 国際資源学部東京試験場（収容人員30名） タイム24ビル：東京都江東区青海2-4-32 国際資源学部名古屋試験場（収容人員50名） 愛知大学名古屋キャンパス：名古屋市中村区平池町4-60-6
		後期日程	国際資源学部秋田試験場 秋田大学手形キャンパス：秋田市手形学園町1番1号
教育文化学部		前期日程	教育文化学部秋田試験場 秋田大学手形キャンパス：秋田市手形学園町1番1号 教育文化学部東京試験場（収容人員30名） タイム24ビル：東京都江東区青海2-4-32 （個別学力検査等で実技検査を選択した者および英語教育コースの志望者は） 秋田試験場のみとなります。
		後期日程	教育文化学部秋田試験場 秋田大学手形キャンパス：秋田市手形学園町1番1号
医学部	医学科	前期日程	医学部秋田試験場 秋田大学本道キャンパス：秋田市本道一丁目1の1
		後期日程	
	保健学科	前期日程	
理工学部		前期日程	理工学部秋田試験場 秋田大学手形キャンパス：秋田市手形学園町1番1号 理工学部東京試験場（収容人員200名） タイム24ビル：東京都江東区青海2-4-32 理工学部名古屋試験場（収容人員140名） 愛知大学名古屋キャンパス：名古屋市中村区平池町4-60-6
		後期日程	理工学部秋田試験場 秋田大学手形キャンパス：秋田市手形学園町1番1号

※ 試験場の案内（55～57ページ）を参照ください。

注意)

- 前期日程の希望受験地は出願時に選択してください。出願後の変更はできません。（教育文化学部の一部コースおよび医学部は秋田試験場のみ）
- 出願時に東京または名古屋試験場を希望した志願者は受付完了順に割り当てます。なお、上記収容人員に達した場合は、秋田試験場での受験となりますので、必ず受験票に記載の「受験地」を確認してください。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、東京または名古屋試験場での実施を取り止め、秋田試験場で受験していただく場合があります。

(3) 受験上の注意事項

- ① 試験当日は、「令和4年度大学入学共通テスト受験票」およびインターネット出願サイトから印刷した「令和4年度秋田大学受験票」の2つの受験票を忘れずに必ず持参してください。
なお、試験室棟に入る際には、両方の受験票を係員に提示してください。
また、試験時間中は両方の受験票を机の上に置いてください。
- ② 受験者は、試験開始時刻の15分前までに指定された試験室に入ってください。ただし、実技検査で受験する者は、試験開始時刻の30分前までに集合することとなっていますので注意してください。
なお、試験室棟へは、国際資源学部の受験者は、前期日程は8時20分から、後期日程は9時50分から、教育文化学部および医学部の受験者は前期日程・後期日程とも8時20分から、理工学部の受験者は、前期日程は9時50分から、後期日程は8時20分から入ることができます。
- ③ 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後10分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
- ④ 試験開始後、試験終了までは試験室からの退室はできません。
- ⑤ 試験時間中は、受験票、黒鉛筆、鉛筆キャップ、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く。）、定規、時計（計時機能だけと判別が容易なもので、秒針音のするもの・大型のもの・アラームが鳴るものを除く。）、眼鏡、ティッシュペーパー（袋または箱から中身だけを取り出したもの）以外のものは、机の上に置くことはできません。
- ⑥ 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類を持参した場合は、試験室棟に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。
試験時間中、かばん等にしまわず、身につけていたり手に持っていた場合は、不正行為となる場合があります。
- ⑦ 不正行為を行った場合は以後の受験は認められず、個別学力検査等の受験は失格となります。
- ⑧ 試験場・試験室において、他の受験者の迷惑になる行為は行わないでください。
- ⑨ 試験場の下見は、試験前日の13時から17時までの間に行ってください。（名古屋試験場は15時から17時まで）
なお、下見は試験室棟入口までとし、**試験室棟には入れません。**
- ⑩ 試験前日および試験当日は、受験者および付添者の車両による入構はできませんので、公共交通機関を利用願います。
- ⑪ 試験当日、秋田試験場には、受験者の控室を設けています。付添者は大学の構内に入ることはできません。
（東京試験場および名古屋試験場には控室はありません。）
- ⑫ 受験者（特に遠隔地からの者）は、**積雪等による交通機関の乱れを考慮し**、前日までに秋田市内等の試験場所在地に到着する等ゆとりをもった日程を組むほか、衣類・履物等にも留意してください。
- ⑬ **大学入学共通テスト受験票は、入学手続の際に必要**となりますので、紛失しないよう注意してください。

(4) 新型コロナウイルス感染症対策について

試験前

- ① 日頃から感染防止について心がけるとともに、朝などに体温測定を行い、体調の変化の有無を確認してください。
- ② 試験日の2週間程度前から発熱・咳等の症状がある受験者は、あらかじめ医療機関を受診してください。
- ③ 試験日に、新型コロナウイルス感染症に罹患して入院中または自宅や宿泊施設において療養中の者、保健所から濃厚接触者に該当すると伝えられて自宅待機となっている者、海外から日本に入学して待機期間中の者は**受験できません**。この場合、追試験の対象者となります。（47ページ参照）
ただし、発熱・咳等の症状がない無症状の濃厚接触者で、初期スクリーニング（自治体または自治体から指示された医療機関が実施するPCR等の検査（行政検査））の結果が陰性であり、試験当日も無症状であり、公共交通機関を利用しないで試験場に来ることができる場合は受験を認めることがあります。受験を希望する場合は、必ず試験前日（2月24日、3月11日）10時までに秋田大学入試課018-889-2256へ相談してください。
なお、受験を認める場合の試験場は**秋田試験場**となります。東京および名古屋試験場では受験できません。
- ④ 試験の前から継続して発熱・咳等の症状がある受験者は、当初予定の日程ではなく追試験の受験を検討してください。希望する場合は追試験の対象者となります。（47ページ参照）

試験当日

- ⑤ 発熱・咳等の症状があり、試験当日37.5度以上の熱がある場合は受験を取り止めてください。この場合、追試験の対象者としてします。(47ページ参照)
- なお、37.5度までの熱はないものの、発熱・咳等の症状がある場合は試験場で申し出てください。
- ⑥ 試験当日は必ずマスクを着用し、試験監督者等からの指示があった場合や昼食時を除いては常に着用してください。また、移動、休憩時間、昼食時等における他者との接触、会話は極力控えてください。(事情によりマスクの着用が困難な場合は、44ページ「5. 配慮を必要とする入学志願者の事前相談」を参照のうえ、秋田大学入試課へ相談してください。)
- ⑦ 試験当日、試験室の換気のため窓の開放等を行うので、上着など暖かい服装を持参してください。また、昼食が必要な場合は持参し、試験室内の自席でとってください。
- ⑧ ごみは持ち帰ってください。特に、使用したマスクは、絶対に試験場に廃棄しないでください。

その他

- ⑨ 日頃から、「三つの密」の回避や、人と人との距離の確保、マスクの着用、手洗いなどの手指衛生をはじめとした感染症対策を行うとともに、体調管理に心がけてください。
- ⑩ 新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCONA)の活用が望ましいです。

4 出願手続

出願は、インターネットによる出願のみとします。出願手続は、インターネットによる出願登録、入学検定料の支払いを行った後、必要書類を印刷して出願期間内に郵送により提出することにより完了します。

3～5ページの「インターネット出願の流れ」をよく読んで手続きを行ってください。

インターネット出願サイトからの登録だけでは出願手続完了にはなりませんので注意してください。

(1) 出願期間 (前期日程・後期日程とも同期間)

インターネット出願登録期間および入学検定料支払期間	出願に必要な書類の提出期間
令和4年1月19日(水)10時から 令和4年2月4日(金)13時まで	令和4年1月24日(月)から 令和4年2月4日(金)17時まで(必着)

(2) 出願方法

出願に必要な書類の提出は、原則として「速達簡易書留」による郵送とし、**2月4日(金)17時必着**とします。

ただし、**2月3日(木)以前の発信局の消印がある速達簡易書留郵便に限り、2月5日(土)17時までに到着した場合は受付**します。

送付先：〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号 秋田大学入試課
悪天候などの郵便事情を考慮のうえ、余裕をもって発送してください。

(3) 事前準備

インターネット出願登録の前に、あらかじめ次のとおり確認および準備をしてください。

パソコン等の利用環境	<p>PCでのインターネット出願は、次の環境で行ってください。</p> <p><ブラウザ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・Microsoft Internet Explorer 11以降 ・Microsoft Edge 最新版 ・Google Chrome 最新版 ・Mozilla Firefox 最新版 ・Apple Safari 8以降 <p>※ ブラウザのタブ機能を使用して、複数のタブで同時に申込操作を行うと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合があります。複数タブでの同時申込操作は控えてください。</p> <p>スマートフォン、タブレットでのインターネット出願では次のOSをご使用ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・iOS 10.2以降 ・Android 4.4以降 <p>※ 各OSの標準ブラウザが推奨環境となります。</p>
PDF表示・印刷ソフトウェア	<p>入学志願票（PDF）の表示・印刷にはアドビシステムズ社が配布しているAdobe Reader（無償）が必要です。</p>
メールアドレス	<p>出願にはメールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレスをご用意ください。</p> <p>「入学志願票」等をプリントアウトするため、パソコンで使用できるメールアドレスを推奨しています。</p> <p>なお、ドメイン指定受信を設定されている方は、次のドメインからのメールを受信できるように設定を追加してください。</p> <p><@e-apply.jp> <@jim-u.akita-u.ac.jp></p>
プリンター	<p>入学志願票（PDF）および受験票（PDF）を出力するため、A4用紙に印刷することができるカラープリンターが必要です。</p> <p>印刷用紙（普通紙・PPC用紙・OA共通用紙・コピー用紙等）とともに用意してください。</p>
角形2号封筒	<p>出願書類の提出用のため、市販の角形2号封筒（240mm×332mm）を用意してください。</p> <p>前期日程・後期日程ともに出願する場合は、<u>それぞれにつき1枚ずつ</u>用意してください。</p>
本人写真データ	<p>出願手続きの際、アップロードしてください。出願前3ヶ月以内に撮影した、正面・上半身・無帽・背景なしのカラー写真で、容量は10MB以内のデータを準備してください。写真データは縦4：横3の比率が望ましいです。</p>

(4) 出願書類等

<全員が提出するもの>

書類等	摘要
入学志願票	<p>本学のインターネット出願サイトから出願登録を行ってください。</p> <p>志願者情報を入力し、顔写真データをアップロードして志願者情報の登録終了後に、検定料17,000円を支払ってください。支払方法は、クレジットカード、ネットバンキング、コンビニエンスストア、またはペイジー対応銀行ATMのいずれかとなります。（払込手数料が別途必要です。）</p> <p>その後、入学志願票をインターネット出願サイトからA4サイズでカラー印刷してください。</p> <p>所定欄に、出願する日程用（前または後）の「令和4大学入学共通テスト成績請求票」を必ず貼付してください。（剥がれないよう全面糊付けしてください。）</p> <hr/> <p>大学入学共通テストの受験を要する教科・科目については、学生募集要項27ページから29ページまでの志願する学部学科等の教科・科目および注意事項を必ず確認し、<u>1科目でも不足する場合は、出願しないでください。出願後に科目の不足等が判明した場合は、受験ができません。</u></p>

<p>調 査 書</p>	<p>所定の様式により<u>出身学校長が作成し厳封したもの</u>（出願する年度発行のもの）を提出してください。</p> <p>出身学校における調査書の記載について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査書は、A4判表裏両面で作成願います。 ・本学では㊤標示を求めておりませんので、㊤標示であってもAとして取り扱います。 ・調査書様式裏面の「7. 指導上参考となる諸事項」については、簡潔に記載してください。事項や記載の多寡は評価しません。 ・「8. 備考欄」は記載を求めません。記載されている場合でも評価の対象としません。 ・様式裏面の記載量はA4判2枚以内とします。調査書が2枚になる場合は2枚目上部に志願者氏名を記載し、クリップ、ホチキス等で綴じないようお願いします。 ・新型コロナウイルス感染症の影響による調査書への記載については、「令和4年度大学入学者選抜実施要項」（令和3年6月4日付け文部科学省高等教育局長通知）13ページ「2 調査書(1)」によってください。 <p>※ 令和元年度以前の卒業生については、従前の様式による提出でも構いません。</p> <p>調査書が発行されない場合に代わる提出書類</p> <p>① 指導要録の保存期間の経過および廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合は、卒業証明書と成績を証明できる書類（成績証明書、単位取得証明書、成績通信簿の写し（本人が保管している場合）等）その他志願者が提出できる書類をもってこれに代えます。</p> <p>② 25ページに記載の「1 出願資格③」に該当する者にあつては、調査書に代えて出願資格を証明する書類および成績証明書（高等学校卒業程度認定試験合格者は、合格証明書と合格成績証明書）を提出してください。なお、一部の科目を高等学校等で修得している者は、<u>在学期間中の調査書または成績証明書も併せて提出してください。</u></p> <p>①または②に該当する志願者は、本学が定める「中学校卒業後の活動内容について」も併せて提出してください。（様式は、本学ホームページからダウンロードしてください。）</p>
<p>出願書類提出用宛名シート</p>	<p>インターネット出願サイトからA4サイズでカラー印刷し（入学志願票印刷時に印刷できます。）、各自で用意する市販の角形2号封筒（240mm×332mm）に全面糊付けで貼付してください。その封筒に必要書類を入れ、(1)出願期間、(2)出願方法を参照して提出してください。</p> <p>前期日程・後期日程ともに出願する場合は、それぞれにつき1枚ずつ用意して提出してください。</p>

<該当者が提出するもの>

書 類 等	摘 要
<p>国際資源学部 英語資格等の 証明書類</p>	<p>国際資源学部（前期日程）志願者のうち、英語の受験に換えて英語資格等により免除を希望する者は、以下①～④のうち36ページ(8)の要件を満たすことを証明する書類1つを提出してください。（コピー不可）</p> <p>①TOEFLスコアの提出方法 「Official Score Report」（公式スコア票）を、出願期間最終日までに本学に到着するようETS（Educational Testing Service）から直送する手続きを行ってください。直送する際に必要な秋田大学のDIコードは、「7519」です。</p> <p>②TOEICスコアの提出方法 「Official Score Certificate」（公式認定証）の原本を他の出願書類と一緒に提出してください。</p> <p>③IELTSスコアの提出方法 アカデミック・モジュールの「Test Report Form」（公式成績証明書）を、出願期間最終日までに本学に到着するようブリティッシュ・カウンシルから直送する手続きを行ってください。ジェネラル・トレーニング・モジュールのスコアは認めません。</p> <p>④英検は、合格証明書の原本を他の出願書類と一緒に提出してください。</p> <p>※ <u>TOEFLのOfficial Score Report, IELTSのTest Report Formは発行までに時間がかかりますので、早めに手配してください。出願期間内に到着しなかった場合は、書類不備のため個別学力検査「英語」免除の申請を受け付けません。</u></p> <p>※ TOEICのOfficial Score Certificate, 英検の合格証明書は、確認後返送しますので、宛先を明記し、540円分（速達・特定記録）の切手を貼った返信用封筒（角形2号/240mm×332mm）を出願書類と一緒に送付してください。</p>

教育文化学部 実技検査調書 【前期日程】	教育文化学部学校教育課程教育実践コース（前期日程）志願者のうち、 音楽、美術 または 体育 の実技検査を受験する者は提出してください。 「実技検査調書【前期日程】」は、本学ホームページからダウンロードしてください。
教育文化学部 実技検査調書 【後期日程】	教育文化学部学校教育課程教育実践コース（後期日程）志願者のうち、 音楽、美術 または 体育 の実技検査を受験する者は提出してください。 「実技検査調書【後期日程】」は、本学ホームページからダウンロードしてください。
教育文化学部 スポーツ活動の 調書	教育文化学部学校教育課程教育実践コース（前期日程、後期日程）志願者のうち、実技検査を 体育 で受験する者は、「スポーツ活動の調書」に所要事項を記入し、記載内容を証明する資料を添付して、実技検査調書とともに提出してください。 詳細は、31ページおよび33ページに記載の実技検査の内容を参照してください。 「スポーツ活動の調書」は、本学ホームページからダウンロードしてください。（前期日程、後期日程共通用紙）
医学部医学科 履歴書	医学部医学科志願者は、高等学校等卒業後の履歴をインターネット出願サイトから入力し、PDFを印刷して提出してください。履歴欄が不足する場合は、A4用紙に任意の様式で記載し、PDFを印刷したものとあわせて提出してください。 ※卒業見込みのため履歴がない場合は、空欄のまま提出してください。
医学部医学科 同意書 (地域枠出願者のみ)	地域枠（後期日程）志願者は、本学所定の様式に、志願者および保護者（または法定代理人）本人が自筆記名したものを提出してください。なお、様式は出願時にインターネット出願サイトからダウンロードできます。

(5) 出願にあたっての留意事項

- ① 令和4年度大学入学共通テストにおいて、本学が指定する教科・科目を受験していない場合は、出願できませんので、十分確認のうえ出願してください。なお、**地理歴史・公民および理科の試験時間においては、解答する科目の順番により出願要件を満たさない場合があるので注意してください。**（27～29ページ参照）
- ② 国公立大学の学校推薦型選抜の合格者は、当該国公立大学が定める「学校推薦型選抜辞退手続」により入学辞退を許可された場合を除いて、本学の個別学力検査等を受験しても入学許可は得られません。
- ③ 国公立大学の前期日程試験に合格し、3月15日（火）までに入学手続を行った者は、本学の後期日程試験を受験しても、その合格者とはなりません。
- ④ 出願書類に不備がある場合には、これを受理しません。
- ⑤ 本学が受理した出願書類等の返還および記載事項の変更は認めません。
- ⑥ 出願手続完了後に大学入学共通テストの科目の不足等が判明した場合は、受験することができません。
- ⑦ **出願手続完了後、既納の検定料は、いかなる理由があっても返還しません。**

ただし、医学部医学科で2段階選抜を実施した場合の第1段階選抜の不合格者および出願受付後に大学入学共通テスト受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した者に対しては、検定料のうち13,000円を返還します。この場合、医学部医学科で2段階選抜を実施した場合の第1段階選抜の不合格者に対しては、第1段階選抜の結果とともに通知します。出願無資格者であることが判明した者に対しては、速やかに通知します。

なお、検定料の振込後に出願しなかった場合も返還しますので、原則として令和4年2月4日（金）から令和4年2月14日（月）までの間に、**秋田大学経理・調達課出納担当（電話018-889-2234）**へ申し出てください。

(6) 受験票の印刷

受験票は、志願者が郵送した出願書類等を本学が確認して受理した後、インターネット出願サイトから印刷できるようになります。印刷可能となりましたら、出願手続時に登録した志願者のメールアドレスへ通知しますので、A4用紙に印刷し、切り取り線で切り取って試験当日持参してください。

受験票の印刷可能日 令和4年2月11日（金）以降

ただし、医学部医学科で2段階選抜を実施した場合、第1段階選抜の不合格者には受験票の発行は行いません。

5 配慮を必要とする入学志願者の事前相談

病気・負傷，身体障害および発達障害等の心身の機能の障害（以下，「障害等」という。）により，受験上および修学上の配慮を必要とする可能性のある入学志願者は，出願に先立ち，下記様式に必要事項を記入のうえ，医師の診断書等を添えて，令和4年1月19日（水）までに本学入試課に相談してください。日常生活においてごく普通に使用している補聴器，松葉杖，車椅子等を使用して受験する場合や期限後に不慮の事故等により，受験上の配慮が必要となった場合には，速やかに相談してください。

また，障害等の程度によっては，事前の準備が必要となる場合がありますので，本学への出願を迷っている場合でもあらかじめ相談いただき，進路決定等により特別措置が不要となった場合には，その旨入試課までお知らせください。

なお，事前相談の内容等が合否判定のための資料になることはありません。

○相談先

秋田大学入試課

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号

電話018-889-2256

○様式ダウンロード先

秋田大学ホームページ (<https://www.akita-u.ac.jp/>) 「入試情報→特別措置」で確認してください。

○様式（A4判）

受験上および修学上の配慮を必要とする入学志願者の事前相談書		
令和 年 月 日		
試験区分	前期日程， 後期日程	※どちらかを○で囲む。
志望学部等	学部	学科 課程 専攻 コース
氏名 (年齢)		(歳)
連絡先	〒 -	電話 - -
障害等の種類・程度		
※医師の診断書等障害の状況がわかるものを添付してください。		
受験上希望する配慮の内容		
修学上希望する配慮の内容		
※入学が確定した後，学生サポートルームから相談内容について連絡する場合があります。		
出身学校等で取られていた特別措置		
大学入学共通テスト受験時の特別措置		
日常生活の状況		
出身学校等	学校名等	
	所在地および 電話番号	〒 - 電話 - -

6 合格者の発表

前期日程 令和4年 3月 7日(月) 15時(予定)

後期日程 令和4年 3月21日(月) 15時(予定)

秋田大学ホームページ (<https://www.akita-u.ac.jp/>)に合格者の受験番号を掲載するとともに、**合格者には合格通知書および入学関係書類等を送付**します。

注) 電話による問い合わせには一切応じません。

7 入学手続

(1) 入学手続期間

前期日程 令和4年 3月14日(月) から 3月15日(火)まで (必着)

後期日程 令和4年 3月25日(金) から 3月26日(土)まで (必着)

(2) 入学手続方法

(3)に記載の所定の納付金を納付するとともに、入学手続関係書類を郵送「**速達簡易書留**」により送付してください。

前期日程は3月15日(火)、後期日程は3月26日(土)**必着**ですので、郵送期間を十分考慮して送付してください。(入学手続期間前に届いた書類は、期間中に受付を行います。)

なお、詳細については、合格者に送付する入学手続案内でお知らせします。

※特別な事情により持参する場合は、入学手続期間内の9時から17時まで秋田大学入試課窓口で受付します。

※入学手続期間前の定められた期間内に入学料の免除または徴収猶予の手続(50, 51ページ参照)を行うか、入学手続期間最終日までに入学料が納付されていない場合は、入学手続が完了できませんので留意ください。

(3) 納付金

① 入学料 282,000円 (予定額)

② 授業料 前期分 267,900円 (年額 535,800円) (予定額)

注1) 上記納付金は予定額であり、入学前に入学料が改定された場合には、改定時から入学希望者全員に新入学料が適用されます。また、入学時または在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。

2) 入学料および授業料(前期分)を本学所定の払込取扱票により、ゆうちょ銀行または郵便局の**窓口**で振り込んでください(振込手数料は負担願います)。ATM(現金自動預け払い機)は使用しないでください。

3) 入学手続時に授業料(前期分)を納付できないときは、令和4年4月1日(金)から4月28日(木)までの間に納付してください。

4) 入学手続完了後に入学を辞退した場合は、納付した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

5) 入学手続完了後、令和4年3月31日(木)までに入学を辞退した場合には、納付した者の申し出により、所定の手続のうえ、当該授業料相当額を返還します。

6) 経済的理由等により、期限までに入学料の納付が困難である者を対象に、入学料を徴収猶予する制度があります。詳細については、51ページを参照してください。

(4) 提出書類等

振替払込受付証明書貼付台紙、大学入学共通テストの受験票、宣誓書等です。詳細は、合格者に送付する入学手続案内でお知らせします。

(5) 留意事項

- ① 合格者が所定の期日（前期日程は3月15日（火）、後期日程は3月26日（土））までに入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものと取り扱います。
- ② 本学に入学手続を完了した者は、その後、これを取り消して他の国公立大学に入学手続を行うことは認められません。
ただし、本学「後期日程」に合格した者で、他の国公立大学の「前期日程」の追試験を受験し合格となった場合はこの限りではありません。
- ③ 他の国公立大学に入学手続を完了した者は、その後、これを取り消して本学に入学手続を行うことは認められません。
- ④ 国公立大学の分離分割方式による合格および追加合格決定業務を円滑に行うために、合否および入学手続等に関する個人情報（氏名、性別、生年月日、高等学校等コードおよび大学入学共通テストの受験番号に限る。）を、大学入試センターおよび併願先の国公立大学に通知します。

8 追加合格

令和4年3月26日（土）において、入学手続完了者が入学定員に満たない場合は、次のとおり追加合格による欠員補充を行うことがあります。

(1) 合格通知

- ① 令和4年3月28日（月）から3月31日（木）までの間に、該当者に対して、入学志願票に記載の「連絡先」へ電話で連絡・確認のうえ、通知します。**本人が不在等のため連絡・確認ができなかった場合は、入学の意思がないものとして取り扱うことがありますので、この期間に外出する場合は家族など在宅者に連絡先を明らかにしておいてください。**
- ② 追加合格者は、本学への入学意思の有無を、本学が指定した日時までに指定した方法で回答してください。
- ③ 本学が指定した日時までに、入学の意思表示がない場合は、入学を辞退したものと取り扱います。
- ④ 本学への入学意思がある場合は、入学手続関係書類を交付します。

(2) 入学手続

- ① 入学手続期間
令和4年3月28日（月）以降、本学が指定した期日まで（必着）
- ② 入学手続場所
本学手形キャンパス内入試課で、入学手続関係書類および納付金を直接受付します。やむを得ず郵送する場合は、詳細について当該者にお知らせします。

(3) 納付金および提出書類等

納付金および提出書類等は、前ページに記載のとおりです。

(4) 留意事項

- ① 追加合格者が、本学が指定した期日までに入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものと取り扱います。
- ② 本学に入学手続を完了した者は、その後、これを取り消して他の国公立大学に入学手続を行うことは認められません。
- ③ 追加合格者が、本学に入学手続を完了した場合、他の国公立大学の第2次募集を受験しても入学許可は得られません。

(5) 欠員補充第2次募集

追加合格によっても、なお、募集人員に満たない場合には、欠員補充第2次募集を行うことがあります。実施する場合は、令和4年3月28日（月）以降、本学ホームページでお知らせします。

9 追試験

新型コロナウイルス感染症に罹患または罹患したおそれがあることにより、一般選抜前期日程または後期日程試験を受験できなかった志願者を対象として追試験を実施します。(39～40ページ(4)を参照)

なお、1科目でも受験した場合は追試験の対象としません。ただし、前期日程2日間の受験者(教育文化学部実技検査選択者および医学部医学科)で2日目の実技検査または面接のみを、発熱・咳等の症状により受験できなかった受験者は、当該科目のみ追試験の対象とします。

試験前日までに学校保健安全法により出席停止とされているインフルエンザ、麻疹、水痘等の感染症や、その他の新型コロナウイルス感染症以外の病名が診断されている場合は、追試験の対象とはなりません。

(1) 追試験を申請できる者

- ① 試験当日、新型コロナウイルス感染症に罹患して入院中または自宅や宿泊施設において療養中の者
- ② 試験当日、保健所から濃厚接触者と伝えられて自宅待機となっている者および海外から入国して待機期間中の者
- ③ 試験の前から継続して発熱・咳等の症状があり、受験を取り止めた者
- ④ 発熱・咳等の症状があり、試験当日37.5度以上の熱があつて受験を取り止めた者

①、③および④による申請は、医師の診断書が必要となります。①および③については試験前日までに、④については試験当日に受験を取り止めて追試験を申請した後に、医療機関での受診を行ってください。

なお、④については、受験を取り止めた後の受診時に熱が低下していた場合や、インフルエンザ等が判明した場合でも追試験の対象となります。

(注) 前期・後期いずれも本学に出願し、前期の追試験申請が認められた後に、後期も追試験対象となった場合は、後期の追試験申請はできません。

(2) 追試験の申請方法

追試験の受験を希望する場合は、電話により次の日時まで申請してください。

前期日程試験 令和4年2月24日(木)11時まで(上記(1)④による場合は、25日(金)11時まで)
(2日目のみ発熱・咳等の症状により受験できない場合は、26日(土)8時30分まで)

後期日程試験 令和4年3月11日(金)11時まで(上記(1)④による場合は、12日(土)11時まで)
申請先 秋田大学入試課 電話 018-889-2256

(3) 追試験の期日および試験場

期日 令和4年3月22日(火)
試験場 秋田大学手形キャンパス(医学部以外の受験者)
秋田大学本道キャンパス(医学部受験者)

(4) 追試験の実施方法等

個別学力検査等の教科・科目、配点および試験時間は本試験と同じです。大学入学共通テスト、追試験の成績および調査書を総合して判定します。

(5) その他

- ① 追試験当日の日程、診断書の提出方法(③および④の該当者)等の詳細については、追試験申請時に説明します。
- ② 合格者の発表 令和4年3月26日(土)15時(予定)
入学手続期限 令和4年3月30日(水)まで
詳細は、合格者に送付する入学手続案内でお知らせします。
- ③ 国公立大学の前期日程試験に合格し、3月15日(火)までに入学手続を行った者は、本学の「後期日程」の追試験を受験しても入学許可は得られません。

10 入試情報の提供および開示

(1) 出願状況

- ① 提供内容
募集単位(学科・課程・専攻・コース)別の志願者数・志願倍率
- ② 提供方法
本学ホームページ
- ③ 提供時期
令和4年1月28日(金)から

(2) 合格者の入学試験データ

① 公表内容

募集単位(学科・課程・専攻・コース)別の合格者の大学入学共通テストと個別学力検査等の総合点の最高点・最低点・平均点・標準偏差を公表します。ただし、個別学力検査等で課す科目等が複数ある場合は、大学入学共通テスト、個別学力検査等それぞれの総点および総合点の最高点・最低点・平均点・標準偏差を公表します。

なお、合格者数が10名に満たない場合は公表しません。

② 公表方法

本学ホームページ

③ 公表時期

令和4年5月6日(金)から

(3) 模範解答例・出題意図等

① 公表する教科・科目等

前期日程 … 国語, 英語, 数学, 物理, 化学, 生物, 地学

後期日程 … 数学

② 公表方法

本学ホームページおよび窓口(入試課)での閲覧

付記: 報道機関, 高等学校, 予備校, 出版社等については, その要請に応じて提供します。

ただし, 著作権の関係から提供できない場合があります。

③ 公表時期

試験終了後準備が整い次第(閲覧の場合は, 土・日・祝日を除く8時30分から17時まで)

(4) 個人の試験成績等

入学試験受験者の個人成績を**合格者および不合格者本人に**, 次により開示します。

① 開示内容

得点

・大学入学共通テスト(本学が課した教科・科目の傾斜配点後の得点)

・個別学力検査等(教科・科目等別の得点。ただし, 医学部の面接については, A, B, C等の段階評価)

順位等

A, B, C等のランク区分

調査書

「各教科・科目等の学習の記録」, 「各教科の学習成績の状況」および「学習成績概評」欄

② 申込期間

令和4年5月1日(日) ~ 令和4年6月30日(木)

③ 申込者

受験者本人に限ります**(代理人は不可)**。

④ 申込方法

郵送で受け付けます。注意事項をよく読み, 次の書類等により申し込んでください。

・本学の受験票

・入試成績開示申込書

・返信用の封筒

[注意事項]

・申し込みの際, 本学の受験票が必要となります。開示を希望する場合は申込期間前に誤って廃棄しないよう注意してください。

・入試成績開示申込書は必ず**受験者本人が記入**し, 郵送してください。代理人による申し込みはできません。

・入試成績開示申込書は本学ホームページ(<https://www.akita-u.ac.jp/>)「入試情報→成績開示」からダウンロードしてください。

・返信用封筒は長形3号に限るものとし, おもて面に受験者の郵便番号・住所・氏名を明記し, 414円分の切手を貼ってください。

申込窓口 秋田大学入試課

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号 電話018-889-2256

⑤ 開示方法

申込みが受理されてから1ヶ月以内に, 受験者本人あてに簡易書留郵便で送付します。

(5) その他入学試験に関する問い合わせ

出願その他入学試験に関して問い合わせる場合は、次によってください。

①問い合わせ方法

電話またはメールフォームを利用してください。電話による場合は、平日(12月29日～1月3日を除く。)8時30分から17時までとし、必ず志願者本人が問い合わせてください。

②問い合わせ先

秋田大学入試課 電話 018-889-2256
秋田大学ホームページ <https://www.akita-u.ac.jp>
「入試情報→資料請求・お問い合わせ→お問い合わせ→メールでのお問い合わせ」

(6) ホームページ

ホームページ等には、入試情報、学部・学科の案内、大学の概要等が載っています。

秋田大学ホームページ → 受験生ポータルサイト

<https://www.akita-u.ac.jp/admission/>

秋田大学受験生
ポータルサイト
QRコード



Ⅲ その他

1 国際資源学部入学志願者へ

国際資源学部では、3年次に全員が4週間程度の海外実習「海外資源フィールドワーク」(必修)を行います。費用の一部は大学が負担し、無理のない渡航計画を立てられるようサポートします。詳細については、入学後のオリエンテーションにおいて説明します。

2 教育文化学部入学志願者へ

- (1) 学校教育課程教育実践コースに入学した者は、入学後の適切な時期に専門領域(教科等)を決定します。この決定は、入学試験の際に選択した受験科目にかかわらず、原則として本人の希望および入学後の学習状況に基づいて行います。

学校教育課程教育実践コースの専門領域(教科等)は、次のとおりです。

国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、家庭、英語

- (2) 地域文化学科に入学した者は、入学後の適切な時期にコースを決定します。この決定は、入学試験の際に受験した科目にかかわらず、原則として本人の希望および入学後の状況等に基づいて行います。

地域文化学科のコースは、次のとおりです。

地域社会コース

国際文化コース

心理実践コース

3 理工学部入学志願者へ

一般選抜(前期日程・後期日程)で入学した者は、入学した学科内のコースへの配属を、2年次進級の際に決定します。この決定は、入学試験の科目および成績等にかかわらず、原則として本人の希望および入学後の学業成績等に基づいて行います。

なお、生命科学科においては、生命科学コースへの配属に関してこれらは該当しません。

4 検定料免除について

災害救助法が適用される自然災害により被災された方々の経済的負担を軽減し、受験者の進学機会の確保を図るために、検定料免除の特別措置を講じます。

検定料の免除を希望される方は、必ず出願前に入試課へ連絡してください。

* 秋田大学入試課 電話 018-889-2256

(1) 対象者

自然災害により災害救助法の適用を受けた地域において被災し、次のいずれかに該当する方

- ① 学資負担者が所有する自己家屋の全壊、大規模半壊、半壊、流失の被害を受けた方
- ② 学資負担者が災害により死亡または行方不明の方
- ③ 学資負担者の居住地が福島第一原子力発電所事故により、警戒区域または計画的避難区域等に指定された方

(2) 申請の方法

事前に本学入試課に連絡し、該当すると判断された方は、所定の申請書類を申請期限までに提出してください。提出の際には、封筒のおもて面に「検定料免除申請書在中」と朱書きし、返信用封筒（長形3号、84円切手貼付、住所・氏名記入）を同封してください。

なお、この申請を行う場合は、出願時に「検定料」を払い込まないでください。

(3) 申請書類および証明書

- ① 申請書類
 - ・「検定料免除申請書」（別紙様式）
本学ホームページ (<https://www.akita-u.ac.jp/>) 「入試情報→検定料免除」からダウンロードできます。
- ② 証明書（コピー可）
 - ・「り災証明書」（上記(1)の①に該当する方）
 - ・「死亡または行方不明を証明する書類」（上記(1)の②に該当する方）
 - ・「被災証明書」（上記(1)の③に該当する方）

(4) 申請期限 令和4年1月17日（月）

(5) 許可または不許可の通知

- ① 許可された方には、出願受付期間前までに「検定料免除決定通知書」を送付します。インターネット出願にあたっては必要事項の登録完了後、検定料を納付せず秋田大学入試課（電話018-889-2256）へ連絡してください。（平日8:30～17:00）
- ② 不許可の方には、出願受付期間前までに別途通知します。出願書類等の提出にあたっては、検定料を納付のうえ、必要な手続をしてください。
検定料の納付がない方の当該入学者選抜試験に係る出願は受理しません。

(6) その他

諸事情により、申請期限までに申請書類および証明書が提出できない場合は、一旦検定料を納付したうえで、出願書類等を提出してください。

5 入学料免除・授業料免除および入学料徴収猶予について

(1) 入学料免除・授業料免除

① 対象者

入学料・授業料免除は「高等教育の修学支援新制度」に基づいて行われるため、日本学生支援機構の給付型奨学金に採用された方が対象となります。

※ 「高等教育の修学支援新制度」は、給付型奨学金の支給や授業料・入学料の減免措置が行われる制度です。詳細については文部科学省HPおよび日本学生支援機構HPを参照してください。

【文部科学省HP】 https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm

【日本学生支援機構HP】 <https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/index.html>

② 入学料・授業料の免除額について

採用された区分に応じて入学料・授業料の全額、3分の2、または3分の1が免除されます。

③ 申請書類の提出について

入学手続きの提出書類に「入学料・授業料等減免申請書」を併せて提出してください。また、日本学生支援機構の給付奨学金に採用されている場合は、「採用候補者決定通知」の写しを同封してください。「入学料・授業料等減免申請書」は下記URLよりダウンロードして使用してください。

【秋田大学HP】 ホーム>学生生活>学費・生活費・奨学金制度

https://www.akita-u.ac.jp/honbu/life/li_lifesupport.html

※ 入学料・授業料免除を受けるには、日本学生支援機構の給付奨学金に採用される必要があります。予約採用をしていない場合は、入学後に在学採用の申請がありますので、必ず申請してください。

(2) 入学料徴収猶予

入学料徴収猶予が許可された場合、入学料の支払いが入学年度の1月末日まで猶予されます。

① 対象者

- ア) 経済的理由により期限までに入学料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる者
- イ) 入学前1年以内に、学資負担者の死亡又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、期限までに入学料の納付が著しく困難である者
- ウ) 高等教育の修学支援新制度に採用された者

② 提出書類について

- ア) 高等教育の修学支援新制度に申請する、または採用されている場合は、「入学料・授業料減免申請書」の「入学料徴収猶予を希望しますか」の項目を「はい」に○をつけて提出してください。
- イ) 高等教育の修学支援新制度の対象ではない方は、入学手続きの提出書類に「入学料徴収猶予希望届」を併せて提出してください。

「入学料徴収猶予希望届」は下記URLよりダウンロードして使用してください。

【秋田大学HP】 ホーム>学生生活>学費・生活費・奨学金制度

https://www.akita-u.ac.jp/honbu/life/li_lifesupport.html

※ 入学前に高等教育の修学支援新制度に採用された方を除き、入学後に別途申請書を提出していただく必要があります。

* 入学料免除・授業料免除および入学料徴収猶予に関する問い合わせ先

秋田大学学生支援・就職課 入学料・授業料免除担当 電話 018-889-2265・2263

6 秋田大学「新入生育英奨学資金」について

本制度は、平成26年に解散した財団法人土崎感恩講より経済的困窮学生支援の目的でいただいた寄附金を原資として、学部新入生を対象に平成30年度から始めた秋田大学独自の給付型奨学金制度です。

秋田大学「新入生育英奨学資金」の給付を希望する者は、以下により申請手続きを行ってください。

※財団法人土崎感恩講は、1830年に現在の秋田市土崎の有志161人が私財を持ち寄り、窮民救済を目的に設立された法人。平成26年に解散。

① 新入生育英奨学資金の対象者（次のいずれかに該当する場合に限られます。）

- ア) 経済的理由により入学料の納付が著しく困難であると認められる者
- イ) 令和3年4月から令和4年3月までの間に、本人の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し、または本人もしくは学資負担者が風水害・地震等の災害を受けたことにより、入学料の納付が著しく困難であると認められる者。

② 給付の額

新入生育英奨学資金の給付が必要と認められた学生に対して、10万円を給付します。
ただし、入学料免除許可者については5万円の給付とします。

③ 申請書類の交付先（入学後）

交付先 〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号 秋田大学学生支援・就職課

④ 申請書類の交付期間（入学後）

令和4年4月6日(水)～令和4年4月15日(金)（土・日を除く）

⑤ 申請書類の提出先および申請期間（入学後）

提出先：秋田大学学生支援・就職課

申請期間：令和4年4月19日(火)～令和4年4月25日(月)（土・日を除く）

* 秋田大学「新入生育英奨学資金」に関する問い合わせ先

秋田大学学生支援・就職課 学生生活担当 電話018-889-2265・2263

7 学生寮について

【入寮案内請求および申し込みについて】

入寮案内の請求期間、申し込み期間等に関する詳細は令和4年1月上旬（予定）に本学ホームページ（<https://www.akita-u.ac.jp/>）でお知らせします。

入寮案内請求および申請については、入学試験の可否の発表に関わらず、上記ホームページにある請求期間および申し込み期間になりますので、ホームページで必ずご確認ください。

なお、入寮案内請求期間および申し込み期間を過ぎてからの受付は、一切いたしませんのでご了承ください。

大学トップページの新着一覧および [受験生の方へ](#) → [NEWS & TOPICS](#) に掲載します。

本学には次の学生寮があります。

なお、選考は**経済的困窮度の高い世帯（生活保護受給世帯、住民税非課税世帯）を優先し**、通学状況、家族数を含めた家庭状況により行います。

名称	定員	居室形態	居室面積	寄宿料（月額）	入寮対象者	所在地
にしゃちりょう 西谷地寮	130名	個室	約18㎡ (約10.8畳)	20,000円	男子学生 (留学生含む)	秋田市手形字西谷地5-1
てがたりょう 手形寮	40名	個室	約9㎡ (約5.5畳)	5,300円	女子学生 (留学生除く)	秋田市手形田中5-50
ほんどうりょう 本道寮	31名	個室	約16㎡ (約9.7畳)	6,900円		秋田市柳田字糠塚100-3

* 寄宿料の他、私生活のために使用する光熱水料、インターネット回線およびNHK受信料等は、自己負担になります。その月額、10,000円程度です。

【募集人数】

男子寮（西谷地寮） 30名程度（留学生含む）
女子寮（手形寮・本道寮） 20名程度（留学生除く）

* 学生寮に関する問い合わせ先

秋田大学学生支援・就職課 学生寮担当 電話 018-889-2240

8 令和4年度秋田大学「個別の入学資格審査」について

学校教育法施行規則第150条第7号による「大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの」として本学へ出願を希望する者は、事前に本学の入学資格審査を受け、入学資格を認められた場合に限り出願できることとなります。

令和4年度入試に関する入学資格審査は、次のとおり実施します。

(1) 個別の入学資格審査を申請できる者

本学へ入学する意志があり、令和4年3月31日までに18歳に達し、本学の指定する書類を提出できる者で、次のいずれかに該当するもの

- ① 高等学校に対応する学校の課程（当該課程を合わせて学校教育における12年の課程を有していることが認められるもの）に在学した者または在学している者
- ② 上記①以外の者で、各種の学校等での学習歴および社会での実務経験等（資格取得を含む。）が、高等学校卒業と同等以上であると客観的に確認できるもの

(2) 申請受付期限

令和3年12月10日（金）（必着）

ただし、大学入学共通テスト受験後に、審査を申請する場合は、
令和4年1月17日（月）～ 19日（水）（必着）

(3) 申請書類

審査を希望する者は、秋田大学入学資格認定申請書〔別紙様式〕に次の各号の区分毎に掲げる書類を添えて、本学に申請してください。

- ① 上記(1)の①による申請者
 - ア 修業年限および学年・学期に関する事項が記載された書類
 - イ 課程の組織に関する事項が記載された書類
 - ウ 教育課程および授業日数に関する事項が記載された書類
 - エ 学習の評価および教育課程修了の認定に関する事項が記載された書類
 - オ 入学および卒業に関する事項が記載された書類
 - カ 当該申請者に係る教科・科目の履修状況の証明書
- ② 上記(1)の②による申請者
 - ア 学校教育における9年の課程修了後の公的な教育施設における学習歴を証明する書類
 - イ 社会での実務経験等（資格取得を含む。）が高等学校卒業と同等以上であることを客観的に確認できる書類

(4) 審査方法

申請書類により審査を行います。申請書類の不備や疑義等がある場合は、期間を定めて当該申請書類の補正を求め、それが満たされないときは審査を拒否することがあります。

(5) 審査基準

- ① 上記(1)の①による申請者については、当該学校の教育内容等が高等学校学習指導要領に準じているかを精査し、高等学校と同等以上であることを審査します。
- ② 上記(1)の②による申請者は、学習歴および社会での実務経験等（資格取得を含む。）について精査し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があるかを審査します。

(6) 認 定

審査の結果、入学資格を認める場合は、申請者に対して秋田大学入学資格認定書を交付します。入学資格を認めない場合は、申請者に対してその理由を付して通知します。

(7) 認定の取消

申請者が高等学校に対応する学校の課程の修了見込み、または学習歴もしくは実務経験等の終了見込みで申請した場合であって、その要件が満たされない場合は、入学資格認定を取り消します。

(8) 申請書類の提出方法および提出先・照会先

申請書類を郵送する場合は簡易書留郵便とし、封筒のおもて面に「入学資格認定申請書在中」と朱書きしてください。また、返信用封筒（長形3号、簡易書留速達料金分（664円）の切手を貼付し、あて先を明記したもの）を同封してください。（持参の場合も返信用封筒を提出してください。）

なお、審査を申請するに当たっては、事前に入試課に照会願います。

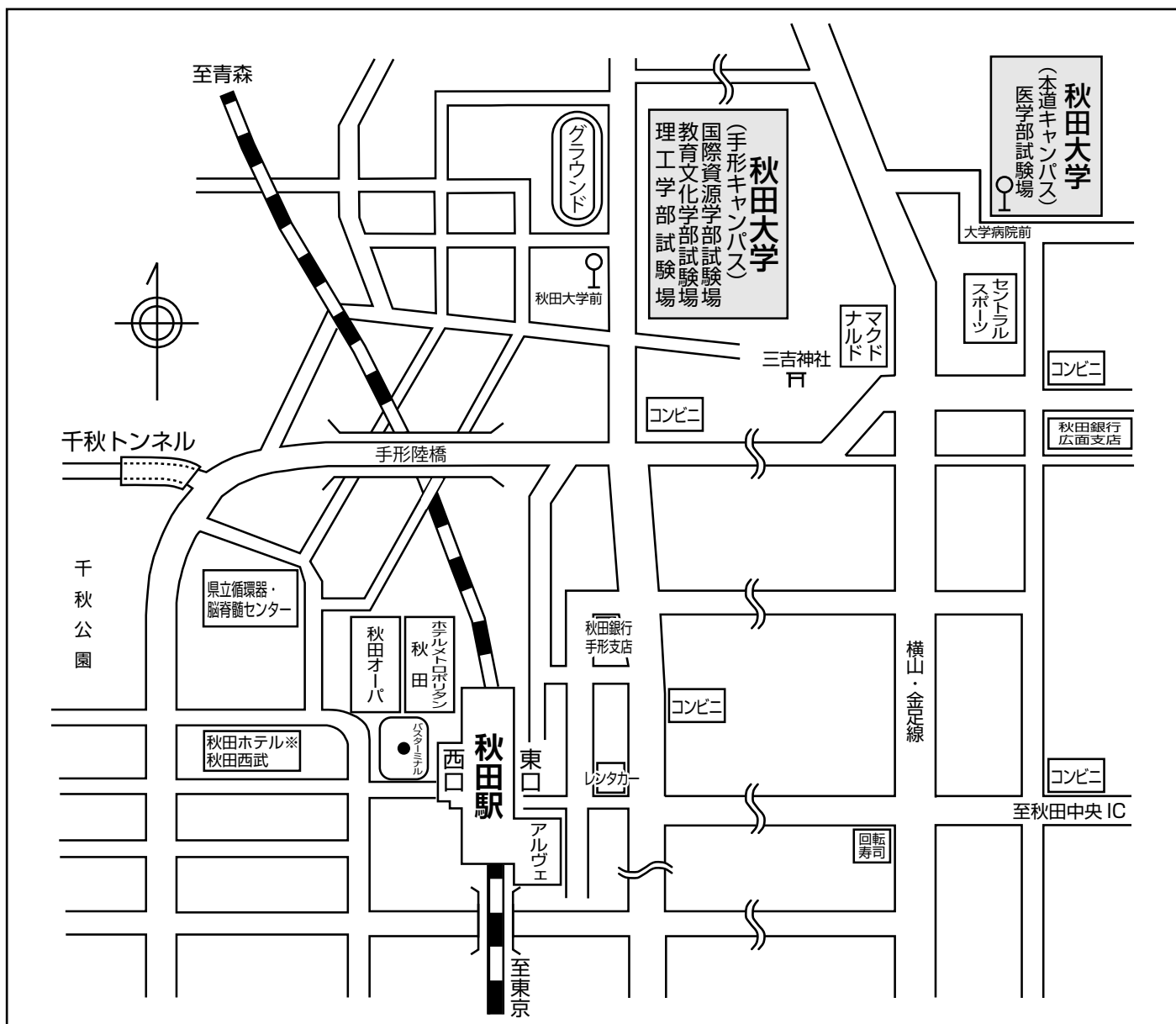
〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号
秋田大学入試課 電話 018-889-2256

○別紙様式（A4判）

秋田大学入学資格認定申請書	
令和 年 月 日	
秋田大学長 殿	
(ふりがな) 申請者氏名 (自署)	(男・女)
生年月日	年 月 日生
<p>私は、令和4年度秋田大学一般選抜を受験したいので、必要書類を添えて入学資格の認定を申請します。</p>	
記	
出願希望学部	: _____
申請者住所	: 〒 _____ _____
電話番号	: _____ () _____

9 試験場の案内

【秋田試験場】



※令和3年12月から「ANAクラウンプラザホテル秋田」

国際資源学部 教育文化学部 理工学部

秋田試験場(手形キャンパス) の交通案内


- 秋田駅西口バスのりば 12番から
秋田中央交通バス 手形山大学病院線
秋田大学前下車 徒歩約1分
- 秋田駅東口から秋田大学手形キャンパスまで
徒歩約15分(約1.3km)

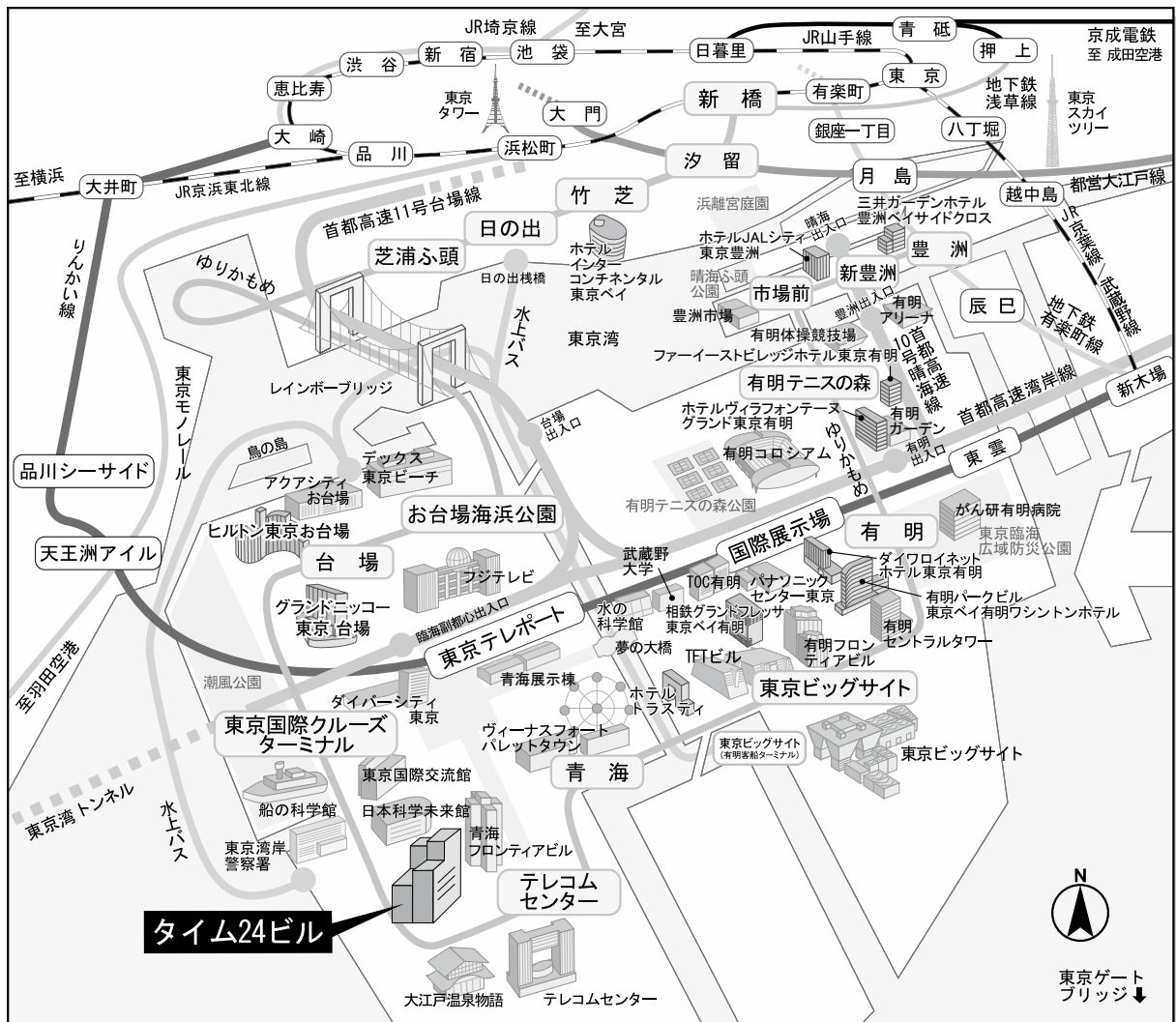
医学部

秋田試験場(本道キャンパス) の交通案内

- 秋田駅西口バスのりば 12番から
秋田中央交通バス 手形山大学病院線
- 秋田駅西口バスのりば 11番から
秋田中央交通バス 太平線, 松崎団地線,
赤沼線
- 秋田駅東口バスのりば 2番から
秋田中央交通バス 赤沼線
各線とも大学病院前下車 徒歩約5分

【東京試験場】（国際資源学部・教育文化学部・理工学部）

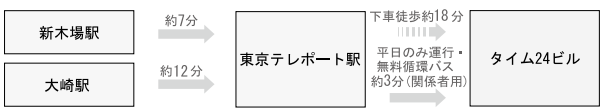
● タイム24ビルへのアクセス ( : 周辺の宿泊施設)



ゆりかもめ

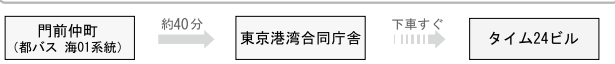


りんかい線

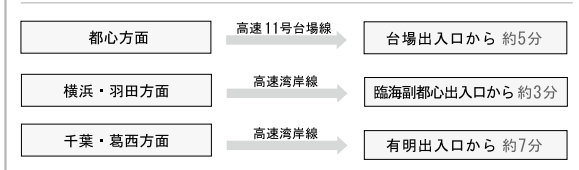


※大崎駅よりJR埼京線相互直通運転。東京テレポート駅から渋谷(約18分)、新宿(約23分)、大宮(約53分)の各駅を直接結びます。

バス



車 ※首都高速ご利用の場合



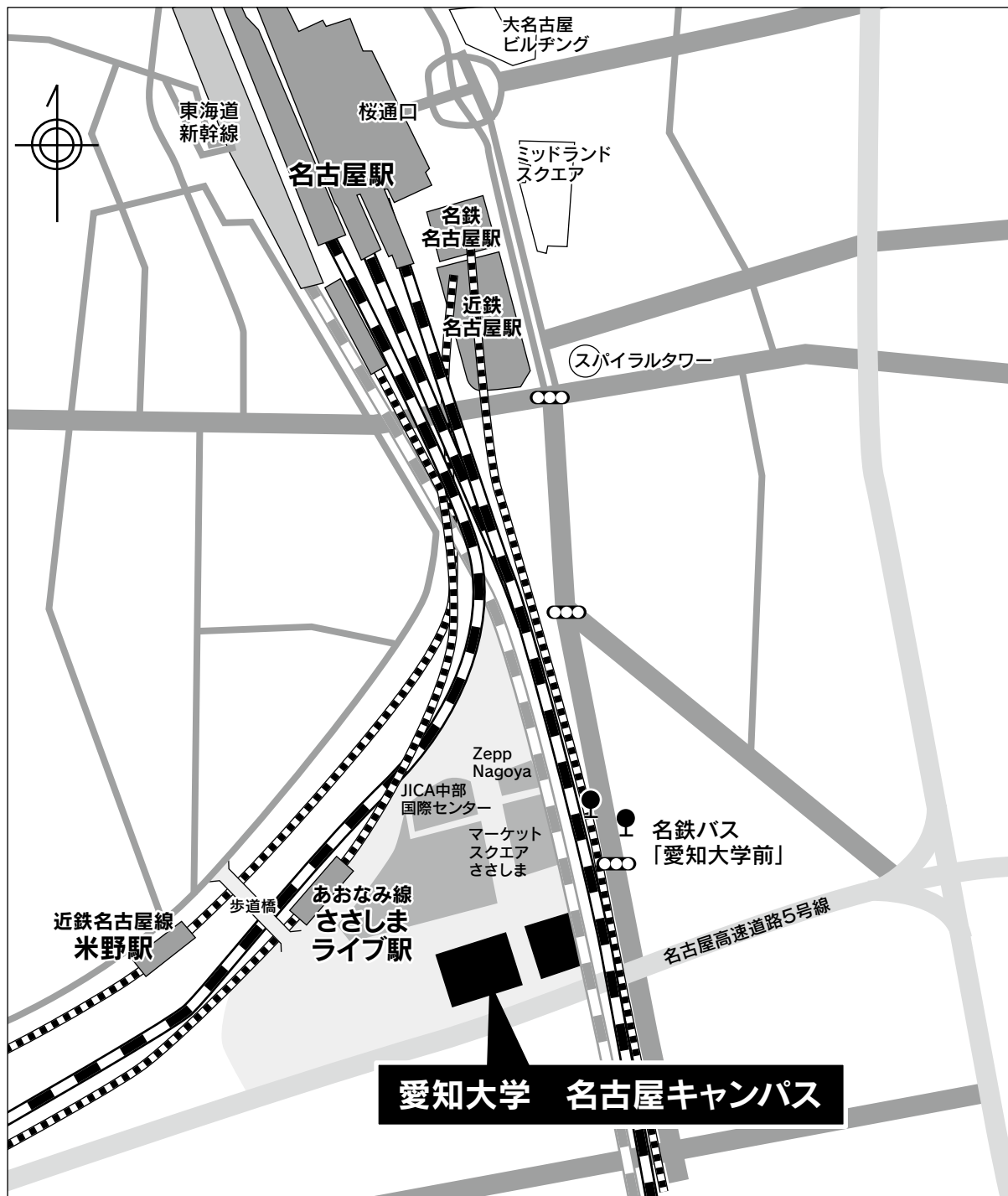
タイム24ビル駐車場

- ① 台数：来客用約20台（車椅子用1台）
 - ② フロア：地下1階
 - ③ 時間：7:30～21:00（土日祝日19:00まで）
 - ④ 料金：250円/30分
 - ⑤ 高さ制限：2.1m
- ※1階コンビニで割引駐車券の販売を行っています。
月極駐車場もございます。

* 注意事項

- 東京試験場の下見は試験日前日の13時～17時までの間に行ってください。ただし、試験室には入室できません。
- 最寄りの駅は「ゆりかもめ テレコムセンター駅」です。

【名古屋試験場】（国際資源学部・理工学部）



名古屋試験場の交通案内

- JR名古屋駅桜通口（東口）から 徒歩約10分
- 名古屋臨海鉄道（あおなみ線）ささしまライブ駅下車
- 近鉄名古屋線米野駅下車 徒歩約5分
- 名鉄バス愛知大学前下車

* 注意事項

- 名古屋試験場の下見は試験日前日の15時から17時までの間に行ってください。
なお、下見は試験室棟入口までとし、試験室棟には入れません。

お問い合わせ先

■ **入学試験に関すること** ※問い合わせの際は、必ず志願者本人が行ってください。

入 試 課 TEL:018-889-2256

■ **入学料免除・授業料免除および入学料徴収猶予に関すること**

学生支援・就職課 TEL:018-889-2265・2263

■ **奨学金に関すること**

学生支援・就職課 TEL:018-889-2263

■ **学生寮に関すること**

学生支援・就職課 TEL:018-889-2240

■ **検定料・入学料・授業料納入に関すること**

経理・調達課 出納担当 TEL:018-889-2234

※ お問い合わせは、月曜日～金曜日 8:30～17:00に行ってください。
(土曜日、日曜日、祝日、12月29日～1月3日は除く)

秋田大学入試課

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号

TEL:018-889-2256 FAX:018-835-9924

URL <https://www.akita-u.ac.jp/>

受験 番号	※大学記入欄
----------	--------

中学校卒業後の活動内容について

志願票に添えて提出します。次の記載事項に誤りがないことを誓います。

氏名	生年月日
	年 月 日

1 学習における特徴等（各教科・科目等に関する学習状況や特徴(積極性など)を記載)

年月または期間など	事 項

2 行動の特徴, 特技等（「1 学習における特徴等」以外の活動の状況や特徴(積極性など)を記載)

年月または期間など	事 項

3 部活動, ボランティア活動, 留学・海外経験等

年月または期間など	事 項

4 資格取得, 検定等

年月または期間など	事 項

5 表彰・顕彰等の記録

年月または期間など	事 項

6 その他諸活動

年月または期間など	事 項

「中学校卒業後の活動内容について」の作成，記載方法について

- 調査書が発行されず提出できない場合は，本用紙に記載して提出してください。
(高等学校卒業後一定期間が経過して発行されない場合，高等学校卒業認定試験合格者 等)
- 中学校卒業後(学校教育9年間終了後)における事項について記載してください。年の表記は元号とし，下中央にページ番号を記載してください。
なお，各欄において，記載することがない場合は記載しなくても構いません。
- 用紙はA4判とし，本学ホームページからダウンロードしてください。(PDFまたはワード)
用紙に直接記入(鉛筆不可)しても，ワードで作成しても構いません。また，他の文書作成ソフトにより，当該様式を模した様式を使用しても構いません。
提出は片面として2枚まで可としますので，必要に応じて行を追加してください。

(※の欄は記入しないでください。)

受験番号	※
------	---

教育文化学部実技検査調書【前期日程】

ふりがな	
氏名	
音楽	<p>次の①、②について必要事項を記入してください。</p> <p>①共通課題 ピアノ ツェルニー40番練習曲の演奏曲番号： _____</p> <p>②選択課題 次の1)、2)、3)のうちから1つを選択し、必要事項を記入してください。</p> <p>1) ピアノ 作曲者名： _____ 曲名： _____ 調名： _____</p> <p>2) 声楽 演奏曲目記号名： _____ 調名： _____</p> <p>3) 管楽器，弦楽器，打楽器，和楽器のうちから1つを選択 選択した楽器名： _____ 作曲者名： _____ 曲名： _____ 調名： _____</p>
美術	<p>次の①から③の表現方法の中から，選択するもの1方法を○で囲んでください。</p> <p>①鉛筆 ②木炭 ③水彩</p>
体育	<p>次の①～⑩の中から，選択するもの1種目を○で囲んでください。</p> <p>①陸上競技 $\left\{ \begin{array}{l} \cdot 競走 \\ \cdot 跳躍 \\ \cdot 投てき \end{array} \right\} \left(\quad \quad \quad \right)$ ※「陸上競技」を選択する場合は，左の{ }の中から，選択するもの1つ○で囲んでください。その中で得意な種目を()内に記入してください。</p> <p>②器械運動 ③バレーボール ④バスケットボール</p> <p>⑤サッカー ⑥ハンドボール ⑦卓球</p> <p>⑧柔道 ⑨ダンス ⑩基礎運動能力</p>

注) この調書は，教育文化学部 学校教育課程 教育実践コース（前期日程）を志望する者のうち，実技検査で音楽，美術または体育を選択する者が提出してください。

(※の欄は記入しないでください。)

受験番号	※
------	---

教育文化学部実技検査調書【後期日程】

ふりがな	
氏名	
音楽	<p>次の①、②について必要事項を記入してください。</p> <p>①共通課題 ピアノ ツェルニー40番練習曲の演奏曲番号： _____</p> <p>②選択課題 次の1)、2)、3)のうちから1つを選択し、必要事項を記入してください。</p> <p>1) ピアノ 作曲者名： _____ 曲名： _____ 調名： _____</p> <p>2) 声楽 演奏曲目記号名： _____ 調名： _____</p> <p>3) 管楽器，弦楽器，打楽器，和楽器のうちから1つを選択 選択した楽器名： _____ 作曲者名： _____ 曲名： _____ 調名： _____</p>
美術	<p>次の①から③の表現方法の中から，選択するもの1方法を○で囲んでください。</p> <p>①鉛筆 ②木炭 ③水彩</p>
体育	<p>次の①～⑧の中から，選択するもの1種目を○で囲んでください。</p> <p>①陸上競技 $\left\{ \begin{array}{l} \cdot \text{競走} \\ \cdot \text{跳躍} \\ \cdot \text{投てき} \end{array} \right\} \left(\quad \right)$ ※「陸上競技」を選択する場合は，左の{ } の中から，選択するもの1つ○で囲んでく ださい。その中で得意な種目を()内に 記入してください。</p> <p>②バレーボール ③バスケットボール ④サッカー ⑤ハンドボール ⑥卓球 ⑦柔道 ⑧ダンス</p>

注) この調書は，教育文化学部 学校教育課程 教育実践コース (後期日程) を志望する者のうち，実技検査で音楽，美術または体育を選択する者が提出してください。

受験番号	※
------	---

スポーツ活動の調書

記載要領

- 1) 高等学校入学以降に出場した大会等について、レベルの高い順に5件以内を記載すること。
- 2) 全国大会などで、出場したが入賞しなかった場合には、成績・賞などの欄に「出場」と記載すること。
- 3) 記載した各種大会出場等における成績（順位、タイムなど）などを証明する資料を添付すること。
* 証明する資料とは、大会プログラム、メンバー表、賞状、認定証、ランキング表、新聞や専門雑誌の切り抜きなどです（いずれもコピーにて可。資料は可能な限りA4判とし右肩に順位の番号を付してください。）
- 4) 大会出場以外のスポーツ活動がある場合は、その他の欄に記載し、それを証明する資料を添付すること。なお、証明する資料の添付が困難で提出できないときは、その理由を記載すること。
- 5) 記載事項がない場合も本調書を提出すること。

氏名		男・女
----	--	-----

順位	競技種目	大会等（正式名称）	開催日	開催場所	主催	成績・賞など
1			年 月 日			
2			年 月 日			
3			年 月 日			
4			年 月 日			
5			年 月 日			
その他						

本書の記載事項に誤りがないことを証明する。

学校名 _____

所在地 _____

学校長 _____ 職印

記載者 _____ 印

記載日 令和 年 月 日